

WACATE ワカテ マガジン Magazine Vol.13

※ ご挨拶 ※ 千紫万紅 謹賀新年!!



こんにちは。WACATE-Magazine 編集部です♪
皆様のおかげで WACATE 2009 冬を大盛況のうちに
終了し、新年を迎えることができました。
ご参加された皆様、本当に有難うございました♪

たくさんの出会い、たくさんの気付きが
あたかも花のように咲き乱れたかと思えます♪

また、もうひとつの冬についても
大晦日という日程にも関わらず、
沢山の皆様にご来場いただきました。
本当に有難うございました★

そして、気付いたら Magazine もとうとう 1 周年です。今後とも WACATE-Magazine を宜しく願いいたします。

✦ vol. 13 のお品書き ✦

- p. 01 ご挨拶/お品書き/WACATE TOPICS
- p. 02 【特集 1】 WACATE 2009 冬 Report!!
- p. 24 【特集 2】 僕の WACATE 2009 冬。
- p. 31 【特集 3】 WACATE の楽しみ方。
- p. 35 【コラム】 WACATE 2009 冬 Best Position Paper 賞受賞者「WACATE の心を持つオヤジ」
- p. 37 【コラム】 ShortShortReport! 「嵐ではじまった前夜祭」
- p. 38 【コラム】 ShortShortReport! 「WACATE 2009 冬の後夜祭」
- p. 39 【リレーコラム】 ワカテにきく。
- p. 40 【トピックス】 SoftwareTestTopics
- p. 41 【連載】 池田暁の「ミュージカルに恋して」
- p. 43 【連載】 今月の STAR★
- p. 44 【リレーコラム】 WACATE-Blog 出張所
- p. 45 【連載】 源太郎の「開運ソフトウェアテスト占い」
- p. 46 お知らせ/編集後記/おくづけ

♪ WACATE TOPICS ♪

[News] WACATE 2009 冬、やってきました!

[News] もうひとつの WACATE 2009 冬もコミックマーケット 77 でやってきました!

[News] WACATE-Magazine が JaSST' 10 Tokyo で出展します! 是非足をお運びください!

WACATE 2009 Winter REPORT!!

さる 12/13[sat]~14[sun]、神奈川は三浦海岸
マホロバマインズ三浦にて

WACATE 2009 冬

～基礎・おぼえていますか～

をやってきました!!!!!!

今回も 60 名近くの参加者とスタッフ合わせて総勢 80
名ほどで、アツイ冬を過ごしてきました!

WACATE に参加した方もそうでない方も楽しめるよう
に、その様子をできるだけフレッシュにお届けします
よ!

ではさっそく! Let' s "WACATE" !!

■前日!

前日は…なんと大嵐でした@@;
強風に横殴りの雨…ぶっちゃけ明日本当に参加者の
方が来れるのかどうか不安なぐらいの悪天候@@;

ひいひい言いながらなんとかホテルに着くと…あり
ましたありました。WACATE の文字…



…と恒例の誤字パネルがお出迎えw
※初日朝には修正されました♪

そんなパネルを眺めていたら前夜祭参加の皆さんと
バッタリ!



軽く談笑してから実行委員は実行委員部屋へ、
前夜祭の方は前夜祭へ!
前夜祭の様子は前夜祭 Report をお楽しみに!

実行委員は前日準備などいろいろあるのです!



作戦会議中。。
他にも印刷物の整理やら ManiaX の準備やら…
やることはたくさんです。

そして一段落した AM2:00…心地よい緊張感を感じな
がら、床につきました。

■1日目・朝!

昨日の雨はなんだったのかというぐらいの快晴!
さて、WACATE 2009 冬～基礎・おぼえていますか～の
開幕準備だ!



■設営!

実行委員は一足先に集合し、朝ミーティングをします。



参加者の皆さんが来るときに備えてマジメにミーテ
ィング!

そして、気分を引き締めたあとは一気にセットアップ
に移ります!



■オープニングセッション！
■山崎 崇 (WACATE 実行委員会)

WACATE では一番最初にご挨拶として委員長の挨拶と副実行委員長からの注意事項の伝達が恒例となっています。
いわゆる副実行委員長のドックンタイムですw



ここでのアイスブレイクが本当に大切なんです。
まだうっすらと緊張している参加者の皆さんをほぐすために、なんと山崎さんが取った行動は…！

そして無事にセッティングが終わってから参加者の皆様をお通して、開幕！



ぞくぞくと集まってくる参加者の皆さん！
今日から2日間お願いします！



伝家の宝刀「**ゴールデンアフロ！**」
会場が一気に温まります。捨て身の行動に感動です。
勉強になります！

かぶり物はふざけてますが、いたって真面目に進行します。
まず、WACATE の定義をおさらい。
今回は初参加が多かったことと、初心忘るべからずといったところでしょうか。
WACATE 合宿だけでなく、ShortShort や ManiaX などの活動についても大まかにご説明。
そして、テーマを発表！「基礎・おぼえていますか」
普段おざなりになりがちですが、実は重要な「基礎」。
これについて2日間、みんなで改めて考えてみましょうー！というのが「スター☆やまさき」からのメッセージでした。



この後、プログラム変更のアナウンスや分煙のお願い、インフルエンザ対策等々の諸連絡の後、ポジションペーパーセッションへと続きます。(コヤマン&はらゆき)

■ポジションペーパーセッション！

■山崎 崇 (WACATE 実行委員会)

立場表明書である「ポジションペーパー」を片手に参加者同士が自己紹介をする…
それがポジションペーパーセッション。

まずポジションペーパー（以下ポジペ）って何？をおさらい。

ポジペとは、…

A4 一枚に書きたいことを書いてもらうもので、立場表明書である。

参加者の皆さんや実行委員も A4 一枚に、今回の WACATE に対する「思い」を思いのままに綴ったものです。

参加申し込みの際に書いて頂いたアレです。

これまではパンチ穴を開けて実行委員がファイリングしていましたが、今回から製本してコギレイです。ちなみにポジペ集は提出順に並べてあります。

このポジペを作成するには理由がありまして。

- ・ WACATE は議論が中心。セミナーのように聞くだけ～というわけにいかないのです。
- ・ 初対面でいきなり議論するのはなかなか難しい。きっかけがあっても相手が何者かわからないとね…。
- ・ そのため、自己紹介によってお互いを知る。コミュニケーションの垣根をとっばらうことが狙いですね。

さて、どう自己紹介をするかというと、3分間フリースタイル！

グループごとに一人3分間という制限時間の中で、己が何者か、この WACATE で何を議論したいか、何を聞きたいか等々語るのです。

では、実際にポジションペーパーセッションスタート！（カーン！）

ゴングが鳴った途端、それまで静かだった会場が一気にワイワイガヤガヤ。

ポジペ集を片手に普通の仕事を話したり、

立って話す人もいれば、ManiaX Vol.1 を片手に語る人もいて。

各自工夫する様子が伺えます。

話す側が一生懸命なら、聞く側も同じで、メモ取りながら聞く人もいましたね。

3分毎に鳴るゴングにしたがって、どんどん進みます。グループ全員終わったら、今度は席替え！せっかとお互い仲良くなったところですが、まだまだ…ということw



私（はらゆき）もちょこっとセッションに混ぜて頂きました。

バックグラウンドが本当に様々で、感心することもたくさん。

そしてこの WACATE に対する参加者のアツい思いに直に触れた気がしましたよ。

このポジションペーパーセッションが終わるころには会場の皆さんからは緊張の色が消え、自然と笑顔がこぼれるようになります。（コヤマン&はらゆき）

■線・マニアックス！

■村上 くにお (WACATE 実行委員会)

ひたすら「線」の話。



まずは基本から♪と、講義は始まりましたが…
ちなみにこの時点で予稿集は配布されていませんw
ww
スパルタだ…

テストの件数把握している人

テストの工数把握している人

…おほ?! 少ないぞお

残テスト予定件数は…?

…手が上がらないwwwww

じゃあ…

手が挙げられる質問をしましろう

予定通りテストが終わらない人っつ!!

…やっと手があがりました♪



バグ出すの好きな人
バグ出されるの嫌な人
・・・どっちもいます。まあこれは当然w

発生グラフをとっている人
・・・これは結構手があがります。

バグ確認対応工数
とっているひとはいない
でも役にたつよね。応援要請もしやすくなるし

信頼度成長曲線
知っている人はたくさん
好きな人は・・・永田さんが挙手してましたw
書いている人はちらほら

開発コード実装状況に関する線
開発にかかわっている方は結構いらっしゃったけど、
挙手は少なめ。

プログラムを確認してきた人？
・・・ええええええ？見てないで参加している人が
いるぞあ；
今度はちゃんとみてきましょうね

線を紹介したうえで、
「その線からどのようなアクションをとるか？」につ
いて、いくつか例をあげて、こんな風に活用しよう、
という説明がありました。
「線を書く」ことで満足するのではなく、「線を活用
する」ことが大事。

新しいネタを仕入れた人？
これはさすがにかなり挙手あがりますね。

そして、更に「予稿集に載せていないお話」がw
指標に関する話。いくつか指標を紹介。

終了後、簡単なチェックリストと共に、やっと予稿集
が配布されました。
そしておまけの・・・去年の冬に何か見たぞコレ？！
というスライドでしたがおぼえていましたか？w。。
しっかり笑いもあって終了♪

◆感想
全体的に「知ってる人～？」「使っている人～？」と
全体に問いながら進めていきました。

若手の方が多いこともあり、そもそもメトリクスをと
る機会が少ない方も多かったかもしれません。
今回紹介された「線」1つ1つについて、皆さんの現
場でどのように活用できるだろう？、更にその線をも
とにどのようなアクションをとろうか？など、考えて
みると良いと思います。大事なのは「知っていたか」
ではなく「これから活かそうと思うか」ですよ？(ば
んばん)

■昼休み突発”さーくるWACATE”参上！
■池田 暁(日立情報通信エンジニアリング)
■小山 竜治(WACATE 実行委員会)
昼休みから帰ってくるとなんとそこには…



ダメな夫人2人”さーくるWACATE”が！



なんと、カバーと帯がついて新しくなったあの同人
誌”Software Testing ManiaX vol.1”を引っ提げて
登場！
まさかまさかの大盛況w



突然現れたにも関わらず、読んでくださった皆様有難
うございました★
なんと参加者の半分以上が入手という大盛況ぶり。

この同人誌はWACATEとコミケでしか買えないので、
よくわからない方も買っていたのかも知れませんが
でも、中身を見ればきっと満足いただけると思いま
す！

そんなこんなで昼休みも終わり…午後からのセッシ
ョンの開始です！(コヤマン)

■技法(同値分割・境界値分析)セッション!

■奥村 健二(WACATE 実行委員会)

■加瀬 正樹(WACATE 実行委員会)

■加文字 諭(電気通信大学大学院)

ばんばんは、初日昼、とある作業を行うために発表準備をさわださんにお願ひしました。

がっ・・・

その前に、かもんじさんと、資料配布についての確認をとっていたのをすっかりかんに忘れ、申し伝えをせずに買い物にいつてしまいました・・・orz

あとでかもんじさんに嘆かれて気づいた・・・

「うおおしまった；；演習問題^^；」

ということですみませんm(_ _)m

2年連続で技法セッション資料配り忘れの原因は私ですorz

さてさて。

同値分割・境界値分析
するこのセッション。

WACATE 冬は毎回技法が入っています。

今回は基礎の基礎、同値分割・境界値分析がテーマです。

テストに関わると誰もが一度は耳にするこの単語。実際会場でも知らない人はいませんでした。

では本当に意識して出来ていますか??というのがこのセッションはWACATE イケメントリオがお届け。女性陣からは声援が飛んだとか飛ばないとか・・・



さてまずはいきなり問題に5分間挑戦です。

Power Point フォントサイズ指定機能で同値分割・境界値分析を使ってテストケースを作成してみよう!

フォントサイズ4000まで指定できるとは(笑)はじめて知りました・・・みなさんもきっと帰って周りのメンバーに「知ってるか?」と話をされたことでしょう。

問題の回答は一先ず置いて、講義が始まります。WACATE 申し込みシステムの「メールアドレスの入力」のテストケースを用いて同値分割・境界値分析を行います。

文章読み合わせでは参加メンバーが当てられました。「12月だから・・・申し込み番号12番の方!」

↑

と言った瞬間に twitter に投稿している12番さん。はえええー。

今回のWACATEではtwitterでつぶやいている方もちらほら。

控室で作業している実行委員はしっかりチェックしてますよ。

話を戻して同値分割は

- ・観点に基づいた同値クラスに分割
- ・同値クラス毎に有効同値クラス、無効同値クラスを定義

複数の無効同値を組み合わせないように注意する必要があります。

何故なら最初の無効をエラーとしてはじいた時点でその次をチェックしていない可能性がありますので。

さてそれを踏まえてもう一度演習問題にトライ。

今回は観点を周りの人とチェックします。

発表した1班は「数値」「桁数」「記号」の観点を挙げていました。



そして境界値分析。これは同値分割と切り離せない要素。

同値クラスの境界値付近にはバグが多いのはみなさん体感されているのではないのでしょうか。

境界値の選択には流派があります。・

Beizer 流・境界値を値の間とする

Jorgezen 流・境界値を値とする

など。

ちなみにレポート筆者は Jorgezen 流でした。

流派名乗ったことないですけど・・・読めないし(笑)

これを踏まえて三度演習問題にトライ。

「12日だから・・・申し込み番号12番の方!」

と言った(略)

実際はその隣の方。

「1と4000だが小数点も考えられる」

「境界の単位をどうするのか、文字をどうするのか」
たかがフォントサイズといえども改めて考えると検討する要素がたくさん出てきますね。



まとめ

同値分割は同値クラスの「観点」を意識！
境界値分析は有効・無効クラスの「境界」を意識！
同値分割してから境界値分析を意識！

今回のテーマは基礎の基礎。

知らない人も無意識に使っている要素だったりします。
理解して使っているのと、そうでないのではまるで違うとてわかりやすい例だったのではないのでしょうか。(ばんばん&さわちよ)

■コミュニケーション・セッション！

■河野 哲也(電気通信大学大学院)

■小山 竜治(WACATE 実行委員会)

講義担当の河野さんが病気のため参加できなくなったため、小山さんが講義も担当。



相手に正しく伝えるために・・・
話の設計を行いましょう

聴き手に何を求めているか？を考える。
どう伝えれば適切にやってもらえるだろうか？

話し手の意図によって整理の仕方が変わる

聴き手の状況によっても整理の仕方が変わる

ではどうやって設計するのか？

話を大きく分ける
→分類ごとに名前を付ける
それを例をあげて解説。

(単なる報告の場合と許可を求める場合とで違いを紹介)

講義のあとは演習！

いきなりグループワークではなく、個人ワークで話の設計書を書いて、グループで1つにまとめる作業を行いました。

班を2つのチームに分け、話し手/聴き手に役割を分担。

話し手が話の設計を行い、聴き手は聴いた話から話しの設計書を想定して作成。その後聴き手が話し手にフィードバックを行うという演習を行います。

「お題」はチームに1つ(つまり班ごとに2つのお題が配布され、話し手側と聴き手側を交互に担当する)与えられました。

まずは25分かけて、じっくりと個人ワーク。



PC 持参の参加者は、マインドマップツール、パワーポイントなどを活用し、PC を使っていない参加者は、ふせん、手描きマインドマップ、図を描いてまとめる、表を書いてまとめる、資料に書きこんでいく、など、本当に十人十色。

ここでのポイントは、この後チームで共有するときわかりやすくすることだと思います。実はここでも「相手(チーム内の他のメンバー)に伝える」ことが要求されているんですね。

自分自身を振り返ると、考えるのでいっぱいいっぱい、相手に伝えることを考えるのは相手に伝える時点・・・こういうタイプのワークショップではいつもそうです。またひとつ気づきが得られました^^

お次はグループワーク
個人ワークのシーンとした状態から一転、賑やかに議論が交わされます。



次に「聴き手の状況」を説明したうえで、話を4分で伝えます。初参加の方も堂々と話をしていました。

そして、聴いた内容から設計をして、グループ内で共有し、最後にフィードバック。



聴き手としての意見や改善点について、相手に感想や結論を伝えます。

ココで気付いた方もいらっしゃるかと思いますが、あえて「良い点」と「微妙だった点」を伝えることをします。

「良い点」というのは伝えやすいのですが、「微妙だった点(=良くない点)」を伝えるのは、相手の事を考えないといけないワケなので、たくさん意識しながら相手に伝えるという作業をします。

最後はコヤマンから「カレー大好きカレーマニアにカレーの欠点を伝える」というちょっとしたウケ狙いのまとめが展開。ゆるい進行で頭の体操的なセッションの終了です♪

(ばんばん&コヤマン)

■プレゼンテーションのプレゼンテーション!

■細川 一宜啓様(日本アイ・ピー・エム)

講師は、前回 WACATE2009 夏のクロージングセッションに登場した細川さん。

前回は「レビュー」がテーマでしたが、今回は、プレゼンテーションの基礎をプレゼンテーションテクニックを実際に交えながらのお話です。

いくつかのテクニックを見抜けるか、そして Twitter つぶしも狙い、参加者との静かな戦いです。

「はいっ。日本 IBM から参りました細川と申します。よろしくおねがいします。……」(ぴたっ)



無言、そして動きの止まった細川さんに参加者全員が引き付けられます。

この冒頭の「ストップモーション」ですっかり魅了された人もいたようですが、まだまだ始まったばかり。テクニックを説明しつつ、さらにさりげなく小ネタのように(ごめんなさい)テクニックを織り込みながら話は続きます。

プレゼン最初に笑いをとること(アイスブレイク)は必須、とか。

演台だけでなく、会場を大々く使って時系列を表現してみたり、とか。

アイコンタクトというよりは、ちょっとはずして耳をみるといい、とかとか。

人を指差すのはナシね、といった、やっちゃいけないこともありました。

個人的に懐かしかったのは「ジェスチャーは鏡写し」ですね。

日本列島を「北は北海道、南は九州まで……」と表現することを例に、ジェスチャーは聴衆から見える方を考慮して、と新人研修で学んだものです。

結局、スライドは1枚もめくらず表紙を写したまま終了。

30分のプレゼンの中に、種類として30弱のテクニックを織り込んだ講演でした。

この後、夜の分科会では題して「プレゼンバトル」が開戦したのでした。

ところで、皆さんは、いくつテクニックを見つけられましたか?

今後、発表する機会がきたら、ぜひシャドープレゼンで練習してみましょう~!

きっと自分の表情や姿勢が少しずつ変わっていくはずですよ。(はらゆき)

■情報検索キホンのキ!

■川西 俊之 (WACATE 実行委員会)

セッション担当は、実行委員デビューの川西さん。オレンジ色のジャケットを着て登壇です。



まず、自己紹介で自分の本棚を撮った写真を公開。PC 上では Dropbox フォルダを作成して興味のある論文を常に入れていたりとか。

このセッションでは、情報を探すときのちょっとした工夫や心構えをみんなで共有します。

まず会場の皆さんに質問! 「参考文献を読んできましたか?」

結構手が挙がりましたね。えらいえらいw

次。「参考文献の参考文献は読んできた?」

ここから挙がる手が激減。

挙手をした方に聞いてみると、「知識ゼロから学ぶソフトウェアテスト」を元に、「ピープルウェア」を読んできたとのこと。

関心の範囲を広げるという意味でも有効な方法ですよ。

まだまだ会場への質問は続きます。

「初めての言葉はどうしていますか?」

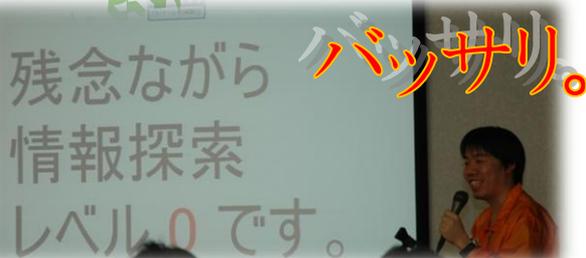
「英語サイトも検索してますか?」

「論文も検索してますか?」

「ひとつのテーマに関していくつの文献にあたりますか?」

「見つけた文献はどうしてますか?」

総じて、「あなたの情報探索レベルはゼロ」。きつううう



実際のところ、英語の壁を感じる方も多いようです。でもね、いわゆる業界用語って英語じゃありません?

テストは Test でしょ?

バグは Bug でしょ?

プロジェクトは Project ですよ?

確かに「慣れ」が必要なのも実際ですけどね。

読む速度は日本語に比べると落ちるかもしれませんが、「ほかの業界に比べたら言語の壁はそんなに高くない!」って自己暗示かけるのもテかもしれませんよ。

(はらゆき)

■ディナーセッション!

■池田 暁 (日立情報通信エンジニアリング)

■スター★やまさき (WACATE 実行委員会)

■大西 建児様 (豆蔵)

■with “Cool-X”

セッションの一環として食事中も気が抜けないのが、WACATE の特徴です。

とゆーワケでまだまだ続くセッションの嵐。

その名も”ディナーセッション”。

宴会ではなく、あくまでセッションです。

三浦海岸の温泉につかってゆったりした後は、食事をしながらゆるやかに進行するセッションの始まり。

まずはクロージングセッション担当である、清水吉男さまから一日の劳いの御言葉と乾杯の御言葉を頂戴いたしました。



ひとまず一日頭を使った疲れを癒すべく、食事をしながらご歓談タイム!



三浦の海の幸に心も身体も癒されます。

中にはセッションについて、技術について熱く語り合う人もいたり...

ここでの交流もセッションのうちだったりします。



宴もたけなわになってきた頃…ステージの方に動きが…



そうです。これが WACATE ディナーセッション恒例「オールナイトoppoん！」



今回はにしさんがご都合により参加できないということで、なんと豆蔵の大西さんにお越しいただき「けんじ・あきらのオールナイトoppoん！」と題して恒例の参加者の意気込みを聞いて晒してイジめる皆の意識を引き締める？というセッションです！

「WACATE 参加への意気込み」

「WACATE 2009 夏で得たもの」

など、たくさんの参加者の声が聞けるセッションとなっております。

食事をしながらリラックスして沢山の方の意見に触れる…そろそろネタが尽きてきたかなあという頃、更にステージに動きが…

そうです。こちらも恒例になりつつある「実行委員などによる余興」。ディナーセッションのディナーはディナーショーのディナー！

ということで我らがスターの登場…と思いきやなんだかサンタ帽のアヤシイ集団が！



突如現れた怪しいバンド集団。その名も「Cool-X」。曲目は…

「いつかのメリークリスマス/B' ㇿ」

圧倒的な演奏力でしっとり演奏をし、イカツイ風貌にも関わらずしっぽりと歌い上げました。

拍手の中、Cool-XのVoが挨拶を終えるとどうやら彼らは「前座」ということがわかりました。

会場にはこの後の主役が誰だかよくわかっている様子。

全員でかっぱい名前を呼ぶと、そこに現れたのは我らがスター★やまさき！！！！



気合入りすぎwwwwww

歌うは「愛・おぼえていますか/飯島真理」の替え歌「基礎・おぼえていますか」

会場のテンションは最高潮に。

みんな手拍子に加えて「フー♪」とか言ってた。

間奏では参加者の間を練り歩いたりなど、大サービス。



そのままのテンションで恒例の抽選会をし、アツという間に楽しい時間は過ぎ去っていきました——。(コヤマン)

■WACATE 夜の分科会！

ディナーセッションで疲れを癒して盛り上がったあとは、酒をつまみながら話す「夜の分科会」の時間。

思い思いの人と思い思いのままに話します。テストの話や人生の話など、業界の人と飲みながら話すという楽しい時間です。

今回はあらかじめテーマが決まっていた2つと、突発的に出来上がった1つのテーマが盛り上がっていました。

飲みながらなので内容は怪しいですがおおよその内容を紹介します。

◆プレゼンテーションのプレゼンテーション(応用編)

中心：細川さん

プレゼンテーションのプレゼンテーション応用のコーナー。実践編です。



比較出来るテーマに対して、
2人がそれぞれ〇派と×派になります。
考える時間1分、発表時間1分で進められます。

| | 勝 | 負 |
|------------------|-------|-------|
| 朝飲むなら | 紅茶 | 珈琲 |
| 旅行に行くなら | 米国 | 英国 |
| -肉の人勝利 | | |
| 飲み会の後には | ラーメン | カレー |
| デートで行くなら | 居酒屋 | バー |
| -細川さんまさかの敗北 | | |
| 彼女にするなら | かわいい系 | きれい系 |
| -スター★がアイドルをフルボッコ | | |
| 眠れない夜に | 恋愛小説 | 推理小説 |
| | もんじゃ | お好み焼き |
| -「レッツメイク！」 | | |
| 旅行にいくなら | 海 | 山 |
| -3人の勝負+大西さん | | |

細川さんのプレゼンテーションセッションで学んだ数々の技を繰り出す参加者たち。その細川さんを破る猛者が現れるなど大波乱の展開！
我らのスター★やまさきも参戦し大盛り上がりの分科会でした！
モデレータ、〇派、×派の3人がいれば簡単に出来るこの実践編。
ぜひぜひ周りの方とやってみてください。(さわちょ)

◆これからのWACATEとSTM

中心：池田さん



プレゼンテーションで盛り上がっている部屋の隣の部屋は落ち着いた雰囲気。ソファを中心にディスカッションというよりは会話が楽しめました。
ソフトウェアテスト業界では(たぶん)はじめての同人誌「Software Testing ManiaX」について、その誕生裏話が飛び出しました。また、WACATEをどうして行おうと思ったのか、また、その苦勞はなどといったWACATE そのものの誕生についてのあれこれやそのためのモチベーション、意識の持ちようといった話がありました。(いけどん)



◆バグは生活習慣病

中心：清水さん

少し離れたところで「僕たちは勉強が足りないよね。まだまだ勉強しなきゃいけないよね。」という話を話していたら、なんと清水さんが来てくださいました。
「ん？なぐさめあってるのか？」
といきなりキツイ一言。
「いや、もっと勉強しなければならぬと先人を見て学ぶところが…という話をしました。」と言うと
「気付いているなら動けばいいんだよ。」
というところからアツイ清水さんの話が始まりました。



清水さんの知識を得ることへの考え方。以前世話をした人のお話、35歳定年説の話、湯本さんの話、XDDPの話…その中でとても印象に残った言葉は
「知らないのは罪。」
「バグは生活習慣病。」
という2つのお言葉。

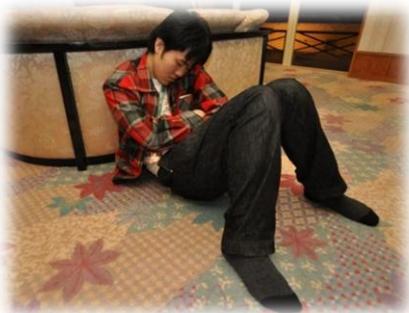
知る事に貪欲になることと、生活習慣病を減らすには、生活習慣を変えなければならぬと思いました。(コヤマン)

●その他…

マッサージ師源！



恒例のスリーピングカモニー！



前日準備お疲れ様♪

■真夜中のWACATE Girls♪

流れ星に願いを込めて・・・真夜中の女性部屋から

分科会が終わり、それぞれ自分の部屋に戻り、更にアツイトークを繰り広げた方も多いようですが・・・

414号室には、お菓子の山。

分科会の終わりに見事お菓子を Get したのは同室のふくっちゃん。

「お菓子をみんなで食べよう！」ということになったのですが、

その前に

「流れ星見に外に行きたい！！」との声。

「あ、でも確か夜中って入口閉まっちゃうよ」

「ここから流れ星、見えるかなあ？」

と、一同ベランダへ。

「わあ、すごいねー。星、たくさん見える」

右下がちょうど正面入り口で明るかったのですが、それでもかなり見えました。

みんなで上を見上げながらじーーーーーっと待つこと数分。

左上に、テレビドラマで見たのと同じような光の筋が。

「あぁっ！！流れたっ☆」

「え？！どこどこ？！」

「今左のここら辺で流れたよっ！！」

「えー、見逃したああ；」

筆者は流れ星は生まれて初めてみました。

ほんっとーに感動しました。

願い事なんてどーでもいいと思いました。

流れ星は2回ほど見られた後、しばらくは起こらず、みんな上を眺めたまま・・・

「あー、なんか流れたように見える」（錯覚で）

「なかなか流れないねー」

しばらくするとまたいくつか流れ星発生。

「あ、見れた！！きゃー☆」

・・・この騒ぎは上の階の男性陣にも聞こえていたとかw

流れ星観賞会の後は、お菓子を囲んでガールズトーク。普段はガールズトークでもテストのことばかりだけど、今回はちょっとガールズらしい内容で盛り上がりました。

・・・内容は秘密(くすっw) (ぼんぼん)



■2日目の朝…

2日目も快晴！朝焼けがあまりに綺麗だったので、パシヤリ。



2日目も、情報の波に乗りにいけます。

■設営再び！

2日目の朝も実行委員は設営に大忙し！まだまだ本番は終わらない！





集合してブリーフィング。あと1日頑張ろう！

■メトリクスのWhyを考えよう！

■原 佑貴子 (WACATE 実行委員会)



2日目朝一のセッションは新実行委員の原さん。昨日の盛り上がりもあり、皆さん眠い目をこすりながらも、2日目も気合いをいれてがんばります！

このセッションは班みんなでの演習、そして発表が中心の「メトリクスのwhy?を考えよう」です。仕事でメトリクスを計っている人では会場で手が挙がりましたが、仕事に活かしているか？という点、若干元気が無さげ...

今回は GQM (Goal/Question/Metrics) を中心に進めていきます。

理論や解説は文献や書籍にいろいろ載ってますがそれだけじゃ、面白くない！

というわけで、実際に計って勉強していきます。

演習は大きく分かれて3つあります。

- ・メトリクスから洞察、分析、評価をしてみよう
- ・メトリクスは誰のものか考えてみよう
- ・メトリクスは何の為に考えてみよう

トラブルしているビジネスシステムのSEという設定でメトリクスを用いてトラブル收拾にあたります。

演習の最初に登場したメトリクス「コメント率」は会場の皆さんにはあんまり馴染みがない模様。

まずは、無数のコメント率がプロットされたコメント率のグラフから、Metrics を測定し、洞察・分析・評価を行います。



20分間(途中もう少し時間が欲しい班の挙手率から5分間延長された)という時間の中で、測定だけでなく分析を行い、チームみんなで現状に対する様々なコメントを作成しなければなりません！

演習用シートは様々なコメントで埋め尽くされていき、時間いっぱいでもまだまだ議論の騒がしさは収まる気配がありませんでしたが、このシートは発表に向けた中間成果物です。バシバシ割り切って次々と演習は進んでいきます。続いて、先ほどのコメント率は誰のためのものか？ということを考えていきます。

PC やポストイットを使い、各自や班の考えを整理しつつ、マネージャーや、プログラマー、レビュアーや顧客等の様々な「誰」そして、その理由を続々と挙げ、班全員での共通理解に向け演習は進んでいきます。いよいよラストの3問目、メトリクスを現場で測定し活用するためには、どうしても予算や工数が必要となります。



そこで、上司や経営者を想定し、活動予算確保のために、コメント率の重要性と必要性を作成していきます。また、同時にこれまでの演習成果を、最後の発表の為にまとめていきます。

前夜のディナーセッションで手に入れた書籍を早速活用している班もちらほら。

各班の若手発表者の緊張も伝わってくるようです(笑



◆各班発表

1グループあたり5分間の発表がされました。開発目線だったり、テスト目線だったりグループメンバーの構成によっても変化が見られました。筆者(さわちょ)は本来聞くことが出来なかったのですが、急きょ代役でメモを取ることに！

◆1班



最初の発表は後にも影響を及ぼすので大変ですね。緊張が聴衆にも伝わっているようでした。このチームではゴールをこのように設定しました。

近い未来：デバッグコストを下げるため
遠い未来：内部品質を高めるため

ゴールが直近と将来で明確になっており、とてもシンプルでわかりやすいものでした。

回答シート#3：簡易GQMテンプレート WACATE

| | | |
|---|---|--|
| Goal | 誰のため？ | 測定時期 |
| ・テスト戦略を見直す優先度など | テストチームが使う | 計測 測定 |
| Question | | 計測 測定 |
| ・コメント率変化が多い箇所は、問題が多い可能性を示しているのか？重要なテスト対象として見直しているのか？ -「テスト優先度は適正に見直せましたか？」 | | 計測 測定 |
| Metrics | 測定時の注意事項 | メトリクス特性 |
| 名称: コメント率 定義: 各コードに含まれるコメント行の割合 測定方法: (ソースコード行数 - 実行行数) / ソースコード行数 出席: 幸孝文野 XXXXXXXX | 1. 上記算出式からは、コード中に含まれる実行/改行のみの行見コメント率として計算する 2. 測定に際しては、手計算や目録による計測を避けること。社内の標準計算ツールを活用 | 重要度: 高・中・低 測定負荷: 高・中・低 測定単位: 個人/チーム/会社 |

対象者をそれぞれの立場で各個人に意識させるとしたのも良いですね。自分には関係ないよと思ってしまうメンバーがいるとなかなか目的が浸透せずに作業と化してしまいますから大事なことです。最初の発表は後にも影響を及ぼすので大変ですが、とてもいい流れを作っていただいたと思っています。大役お疲れさまでした！

◆2班



この班は「テストチームが使う」という設定で臨みました。

- ・コメント率安定しているもの=テストが始められる
- ・コメント率変化の高いもの=要対策

コメント率の変化からどの個所に不具合が潜んでいるかを探りテスト戦略のために役立てます。

回答シート#3：簡易GQMテンプレート WACATE

| | | |
|---|---|--|
| Goal | 誰のため？ | 測定時期 |
| ・安定した品質を確保したい ・プログラムの修正が容易になる ・レビュー時にバグが見つけやすくなる ・テストケース作成時に問題が見つけやすくなる。 | プロジェクトマネージャー 修正する人 レビューする人 ソース書人 単体テストする人 | 計測 測定 計測 測定 |
| Question | | 計測 測定 |
| ・プロジェクトが均質かどうか？ ・ソース以外の情報の含めているか？ | | 計測 測定 |
| Metrics | 測定時の注意事項 | メトリクス特性 |
| 名称: コメント率 定義: 各コードに含まれるコメント行の割合 | 1. 上記算出式からは、コード中に含まれる実行/改行のみの行見コメント率として計算する | 重要度: 高・中・低 測定負荷: 高・中・低 測定単位: 個人/チーム/会社 |

まずは開発側のために・・・としている班が多い中でテストチームからのアプローチというのが非常に興味深く映りました。

◆3班

マネージャーにはプロジェクトが均質かどうか、開発者には修正のしやすさのため、テスト担当者にはバグを見つけやすくするため、そのように各ロール毎にゴールを明確にしていました。



まずはプロジェクトから・・・としている班が多いところ、全社導入でプロジェクト毎にわかるようになる！おお攻める班ですね。

回答シート#3：簡易GQMテンプレート WACATE

| | | |
|---|---|--|
| Goal | 誰のため？ | 測定時期 |
| ・安定した品質を確保したい ・プログラムの修正が容易になる ・レビュー時にバグが見つけやすくなる ・テストケース作成時に問題が見つけやすくなる。 | プロジェクトマネージャー 修正する人 レビューする人 ソース書人 単体テストする人 | 計測 測定 計測 測定 |
| Question | | 計測 測定 |
| ・プロジェクトが均質かどうか？ ・ソース以外の情報の含めているか？ | | 計測 測定 |
| Metrics | 測定時の注意事項 | メトリクス特性 |
| 名称: コメント率 定義: 各コードに含まれるコメント行の割合 | 1. 上記算出式からは、コード中に含まれる実行/改行のみの行見コメント率として計算する | 重要度: 高・中・低 測定負荷: 高・中・低 測定単位: 個人/チーム/会社 |

発表かなり緊張してしまったようです(^_^; いえいえ、WACATE は若手の成長の場です！自信に繋がってください！

◆4班



今の自分たちよりも後工程の人たちのために。

そのコードを保守するのは自分じゃないかもしれない、自分でもわからないかもしれない。後から見た人はその意味がわかるのか。
コメント率を測ることで保守の際のトレーサビリティ向上がテーマでした。

回答シート#3: 簡易GQMテンプレート WACATE

| Goal | 理由のため | 測定時期 |
|---|---|---|
| 開発工程の入り口で、次工程まで変更が、やすくなること → 手戻り工数が減る → 再現性が上がる → 少ない負荷でズバッと解決!!! | 開発工程の人 → 本日のソースコードを使って 開発する。 | 計測 判定 承認 |
| Question | 保守性が確保されているか → 次工程の担当者からすれば、ソースコードの役割が明確になっているか → 開発工程の終了後の手戻りが少ないか | 計測 判定 承認 |
| Measure | 測定時の注意事項 1. 上記算出式からは、コード中に含まれるコメントの割合のみが計測される 2. 測定の際は、手戻り工数や負荷による計測結果を考慮し、社内標準値や目標値を設定する | メトリクス特性 定量的 主観的 開発単位 開発単位 開発単位 開発単位 開発単位 開発単位 |
| 名称: コメント率 定義: 各コード中に含まれるコメントの割合 測定方法: (ソースコード実行数 - 実行行数) / ソースコード実行数 出力: 数値で表す (xxxxxxx) | | |

全社でいきなりはじめるとうまくいかないこともあるので、まずはプロジェクトからと、最後まで周りを考えた献身的な発表に涙です。

「少ない負荷でズバッと解決！」

初日のプレゼンセッションの成果? いいキャッチフレーズですね!

◆5班



4班に続いてこちらにも主に開発者、保守担当者視点でした。

最終的にはソースコードをシンプルにし、手戻り工数や保守コスト削減することを目指しています。

回答シート#3: 簡易GQMテンプレート WACATE

| Goal | 理由のため | 測定時期 |
|---|---|---|
| コードの保守性を高める 手戻り工数を減らす プログラマとユーザーの両方の負担を減らす 品質を高める | プログラマ 保守性向上 プログラマとユーザー 両方 | 計測 判定 承認 |
| Question | ソースコードはシンプルに読みやすいか 保守コストの削減(手戻り)はどのくらいか 手戻りコストの削減(手戻り)はどのくらいか | 計測 判定 承認 |
| Measure | 測定時の注意事項 1. 上記算出式からは、コード中に含まれるコメントの割合のみが計測される 2. 測定の際は、手戻り工数や負荷による計測結果を考慮し、社内標準値や目標値を設定する | メトリクス特性 定量的 主観的 開発単位 開発単位 開発単位 開発単位 開発単位 |
| 名称: コメント率 定義: 各コード中に含まれるコメントの割合 測定方法: (ソースコード実行数 - 実行行数) / ソースコード実行数 出力: 数値で表す (xxxxxxx) | | |

ごちゃごちゃになったソースってコメントが無かったり無茶苦茶だったりしますからね……。わかります。

PGだけでなく、PLは全体で異常が無いかのチェックに使います。

PLがアクションを起こすことで経営陣が安心!

◆6班



今まさに起こっているのも重要度を高く定めたのはこの班。

実際動いているプロジェクトの途中で、テンパってる開発者を巻き込んで新しいことをはじめるのはなかなか大変でしょう。しかしコメント率のばらつきから担当者が放置されているのかもしれないからフォローが必要だと、これは今救うためなんだという理由をさらっとあげていましたがこれで案外説得できるかも。

回答シート#3: 簡易GQMテンプレート WACATE

| Goal | 理由のため | 測定時期 |
|---|---|---|
| 問題とその原因、対策を見える化する プロセスを作り、運用する コードの保守性をアップする | 開発工程の人 → 本日のソースコードを使って 開発する。 | 計測 判定 承認 |
| Question | コードの保守性は良いか? 良い状態を維持出来ているか? → コメントが十分にあるか 問題を見える化する手段があるか | 計測 判定 承認 |
| Measure | 測定時の注意事項 1. 上記算出式からは、コード中に含まれるコメントの割合のみが計測される 2. 測定の際は、手戻り工数や負荷による計測結果を考慮し、社内標準値や目標値を設定する | メトリクス特性 定量的 主観的 開発単位 開発単位 開発単位 開発単位 開発単位 |
| 名称: コメント率 定義: 各コード中に含まれるコメントの割合 測定方法: (ソースコード実行数 - 実行行数) / ソースコード実行数 出力: 数値で表す (xxxxxxx) | | |

フェーズの区切りで実施を考えているチームが多い中でこういった思い切りが出来るのが凄いです。こういう決断が後々の惨劇を食い止めることに繋がるでしょう!

◆8班



「コメント率をチェックするメトリクス承認をお願いしたい」

と実際に提案を行ったのはこの班。
コードの品質に疑問を持つメンバーが増えてきた。と何故それをはじめようと思ったかと、コメント率測定が出てくる背景にまで言及していたのが印象的で、そこからはじめたこの班の意識共有はきっと素晴らしかったことでしょう。

TABLE 8 WACATE

| | | | |
|----------|---|--|------------------------------|
| Goal | コードの品質確保(正確性、保守性) コード実装時の品質チェック 開発プロセスの改善 | 誰のため? ・開発者 ・マネージャ ・お客さん ・保守 | 測定時期 |
| Question | 品質の高いコードレビューを実施しているか? コーディングルールを守っているか? | | |
| Metrics | 名数 定数 測定 方法 | 測定時の注意事項 1. 上記算出式からは、コード中に含まれる空行(空白)のみをカウントする 2. 測定に関しては、手計算や目視による計算を避けること、社内の標準計算ツールを適用 | メトリック特性 業務系 開発系 運用系 |

プレゼンテーションとしても費用対効果、ゴールイメージがとてもわかりやすくお手本のようでした。他の参加者も実際の提案風景が頭に浮かんだのではないのでしょうか。

◆9班



左を見ると海が見えます！とアイスブレイクから。そして深呼吸。自分の緊張を解くために会場を使う行動にみんなが拍手。これもプレゼンセッションの応用です。この班ではコメント率測定を「健康診断」と表現しました。

回答シート#3: 簡易GQMテンプレート WACATE

| | | | |
|----------|-----------------------------------|--|------------------------------|
| Goal | 問題を未然に防ぐため ・リスクを知り、早いうちに対応する | 誰のため? 顧客、経営者層、プロジェクトマネージャーを含む、プロジェクトにかかわる人 | 測定時期 |
| Question | QCDを乱す可能性のある危険な兆候があるか ・属人性はどうか | | |
| Metrics | 名数 定数 測定 方法 | 測定時の注意事項 1. 上記算出式からは、コード中に含まれる空行(空白)のみをカウントする 2. 測定に関しては、手計算や目視による計算を避けること、社内の標準計算ツールを適用 | メトリック特性 業務系 開発系 運用系 |

問題がはっきりわかるわけではないが簡単に調べられる。これにより手助けできるのではないかと。最後の最後に問題が発見されて「あんた末期がん」といわれたらしょうがない。初期段階だから手術できますよ。というイメージ。実にわかりやすい喩えでした。

◆7班



続いてラストの班も「飛行機」に例えたわかりやすいものでした。飛行機搭乗中は急に高度が変わると不安になる。それと同じことが言えるとのこと。なるほど。前の班もそうでしたが「不安」を捨てるのが問題の早期発見につながるきっかけになるというわけです。

回答シート#3: 簡易GQMテンプレート WACATE

| | | | |
|----------|--|--|------------------------------|
| Goal | テストやレビューの優先順位を付けることにより、効率的なテストが出来る。 | 誰のため? ・テストマネージャー ・レビューマネージャー ・開発者 | 測定時期 |
| Question | コメント率が低いことにより、効率的なテストが出来るか? (特に乱暴なコメントが減少しているか) | | |
| Metrics | 名数 定数 測定 方法 | 測定時の注意事項 1. 上記算出式からは、コード中に含まれる空行(空白)のみをカウントする 2. 測定に関しては、手計算や目視による計算を避けること、社内の標準計算ツールを適用 | メトリック特性 業務系 開発系 運用系 |

コメント率が高くなっていった場合、この人は理解していないのではないかとという観点も面白いですね。残念ながらグラフの説明をしているところで時間切れになってしまいました。WACATEは時間に厳しく、納期を守らせませす。(…ということを書き納期オーバーで書いてる私。ごめんねコヤマン。)

◆講師より

今回はM→Q→GとGoalに向かってボトムアップで話し合ってもらいましたが、本来GQMはトップダウンで使うものです。今度はそのGoalから別のQuestion、別のMetricsで調べてみるのが良いです。これで広がりを持たせることが出来ます。

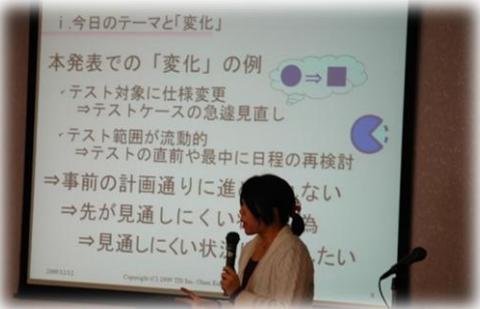
◆セッション感想

普段もう既に存在しているメトリクスを「何故それが必要なのか」とひっくり返す機会はあまり無いのではないのでしょうか。またそれを指摘したり「これを測定しよう！」と検討するミーティングの場がこんなにも楽しくできたことはないの、自分の実際と比較して魅力的に映りました(^;業務内でもこんな風にしたい…。全員が建設的で前向きな意見を出せる。これがWACATEのいいところだったりもします。ぜひみなさん、社内に持ち帰る際にはそのやり方だけでなく、いい雰囲気も一緒にフィードバックしてください。大盛り上がりの演習でした！みなさんお疲れさまでした。改めて拍手。(カモニー&さわちょ)

■BPP セッション1!

■近江 久美子様

「変化の中でテストしてみたの気づき」



「変化の中での気づき」ということで、変化(仕様変更など)の多いプロジェクトに関わったときの事例紹介を交えた発表。

(ごめんなさい; 前半事務対応で聴講迷しましたm(_ _)m)

テストでの対応として、

①観点を事前に明確にする

そうすることで、考える基があるため、対象が変わっても早く対応できる。

出発点が明確になるため、見直ししやすくなる

②日頃からトレーニングする

そうすることで、柔軟に対応できるようになる。

トレーニングは1人でもできる!

◆セッション感想

発表するなら、参加者のみなさんにとって有意義な内容にしたい、ということを発表前に近江さんは話されていました。

そんな想いも聴講なさっている参加者のみなさんに伝わったのではないのでしょうか。(ばんばん)

■BPP セッション2!

■渡辺 由希子様

「品質について考える」



ご自身を振り返りつつ、品質に対する考え方、そして自身の変化についての発表がありました。

昔: ある意味「作り逃げ」自己満足の自分がいた。
自分の変化: 開発だけでなく、障害対応やテストの設計も担当。

変化により感じたこと→本当にクライアントが望んでいるものだろうか?

・・・その中で WACATE を知り、2008 冬に初参加。

自分の中の「偏り」を知る。

レビューにおける観点を、誰もが知っていれば、みんなが幸せになることに気づく。

テストは品質の担保?

→設計の段階でテストの観点を取り込める!! ということに気づく。

自分の中での変化:

- ・ チャレンジな PJT に参画
- ・ 勉強会に出向く
- ・ 勉強会を仕掛ける (外部で得たものをフィードバック)

◆セッション感想

発表も立派でしたが、スライド(予稿集資料)も視覚的に伝わりやすく美しいものでした。さすが BPP 受賞者!! あっばれでした。(ばんばん)

■グループディスカッション!

■技術者としての心・態度・習慣

■山崎 崇 (WACATE 実行委員会)



技術者として持つべき心とは?

その心によって現れる態度とは?

その態度から生まれる習慣とは?

まずは上記3点について各自考え描いてみる、5分間個人ワークから始めました。

個人ワークでシーンとしてしまった場を山崎さんが和ませつつ進行していきます^^



そして個人ワークの内容を隣と見比べ大会。

全員で回覧した班もちらほら。

みなさんそれぞれの答えが出た様子です。

次は席替え！世代ごとに分かれて、いよいよグループディスカッション。
世代ごとにどんな意見がでてくるのか、楽しみです。



お互いに意見を交換しあい、模造紙1枚にまとめていきます。
この時点で各班(各世代)特色が出ているのが楽しかったwww

◆2班(31歳-35歳組)



【心】 向上心
【態度】 アンテナを張る
技術向上
深掘り系

【心】 プロ意識

【心】 心構え(感謝するとか・・・)

【態度】 気配り
【習慣】 コミュニケーション



◆3班(ベテラン組)



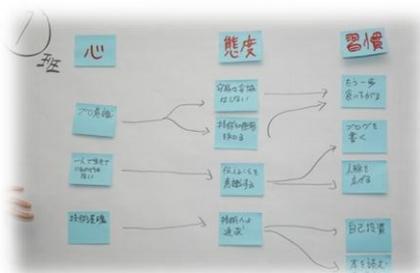
【心】 プロ意識
【態度】 安易な妥協をしない
【習慣】 もう一歩くいさがっていこう

【心】 1人で生きているわけではない
【態度】 人脈を広げる

【心】 技術屋魂
【態度】 自己投資
勉強する

【心】 貢献したい
【態度】 貢献するために勉強する

【心】 遣いたい
【習慣】 健康に気をつける
おやじギャグは言わないwww



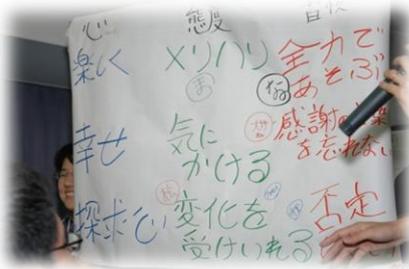
◆4班「チームアラサー」(30歳以下組)



- 【心】楽しく
- 【態度】メリハリ
- 【態度】全力で遊ぶ

- 【心】幸せ
- 【態度】気に書ける
- 【習慣】感謝の気持ちを忘れずに

- 【心】探求する
- 【態度】変化を受け入れる
- 【習慣】上司の意見を噛んで



◆5班「チーム自称20歳」www(30歳以下組)



- 【心】探究心を持つ
- 【態度】見識を広める
- 【習慣】通勤時間に本読む

- 【心】初心を忘れない
- 【態度】永遠の二十歳w
- 【習慣】勢い

- 【心】お客様に(←メモしきれず；)
- 【態度】テスト対象に愛を持つ
- 【習慣】飴と鞭の精神で



◆6班(30歳以下組)★発表 Just 3分!!!



グルーピングの軸が更に3つありました。

自身の成長

- 【心】チャレンジと向上心
- 【態度】興味や熱心な心を持つ
- 【習慣】セミナー。論文読む、勉強。

チーム・会社の成長

- 【心】責任感
- 【態度】先人から学ぶ
- 【態度】先入観を持たない
- 【習慣】様々な意見を知る
- 【習慣】笑顔を忘れない

社会

- 【心】社会貢献
- 【態度】周りを見て良く考える



◆7班「チーム20[hex]歳(デシマル36歳w)」(ベテラン組)



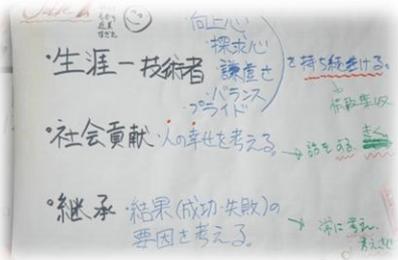
- 【心】生涯技術者
- 【態度】向上心/探究心 etc の心を持ち続ける

【心】社会貢献

- 【態度】人の幸せを考える
- 【習慣】話をする。書く。

【心】継承

- 【態度】結果・要因を考える
- 【習慣】常に考え続ける



◆9班「チーム几帳面」(30歳以下組)



模造紙上で、きっちり測って線をひいたそうで・・・この班、比較的意見が揃ったようで、発表も以下のとおり同じ言葉が繰り返される状態にw

- 【心】向上心！向上心！向上心…(ひたすら向上心!!!)
- 【態度】自分から情報をとりに行く行く行く・・・
- 【態度】自己探求(自分に足りないものを探す)
- 【習慣】勉強会に参加する
- 【習慣】積極的に本を読む。読む、読む・・・

◆8班(31歳-35歳組)



区切りごとに、上田(卓)さんの話をまとめようとする言葉がいい味出してましたw

【心】プロ意識

- 【態度】期待に120%応える
- 【習慣】差別化や+αのサービス
- 【態度】技術の向上
- 【習慣】勉強する

【心】ヒューマンスキル

- 【態度】厳しさと優しさ
- 【習慣】怒った同じ数褒める

【心】ハッピー

- 【態度】健康第一
- 【習慣】趣味も全力！
- 【態度】ありがとうという感謝の気持ち
- 【習慣】「ありがとう」と言う
→これがプロ意識になる。



「えーっと・・・」カンカンカーン(無情にゴングが鳴り響く)www



各班、楽しい発表ありがとうございましたw

初参加の方の発表が素晴らしかったです。(常連さんはもちろん♪)
昨日のプレゼンのセッションを活用している方もいたのかな？

では、議論の最中では？やはり昨日行われた「コミュニケーションセッションで学んだことを意識した人いますか？」
・・・(沈黙)・・・
「…いねーのかよ！！ww」(←コヤマン心の声を叫ぶ)

是非、WACATE で得たものを活用してほしい。
ここで終わりではなく、ここをきっかけに考えていただきたい。そして、続く人格、人生について考えるきっかけとしてください。
というメッセージで山崎さんがくれました。

◆セッション感想

全般をとおして和んだ雰囲気のセッションでした。後ろのほうに差し入れお菓子コーナーができたり、大西さんが女性参加者のためにスペシャルな差し入れをしてくださったり・・・これまでの演習時間とは一味違った雰囲気となりました。

レポートを書いている気づいたことがあります。
模造紙の発表は、「遠くの人に見えるか?」「模造紙上で一番伝えたいことが強調されているか?」「模造紙上で伝えきれないことを口でうまく伝えられるか?」という点がポイントになると思います。

グループディスカッションだけでなく、各班の発表がうまくいったかどうかは、レポートの内容がちゃんと自分たちの意図を反映したのになっているか?(聴いている側にきちんと意図が伝わったか?)により、ある程度結果が見えてくると思います。

レポートを書くことは書く本人が勉強になるのはもちろんなのですが、発表する側にとっても有意義なものなのだあと改めて感じました。(ぼんぼん)

- クロージングセッション!
- 先人の生き方から学んだSE人生
- 清水 吉男様(脚システムクリエイツ)

「わがSE人生に一片の悔いなし」を御存知でしょうか。強烈なタイトルですねー、私もそれで印象に残ってました。

その著者・システムクリエイツ清水吉男様に御講演いただきました。

とてもいい話ばかりで今でも印象に残っています。
みなさん聞き入っていましたね。…私もメモを忘れてついつい。

出来れば聞いた内容全部載せたいところなのですが、、、
レポートということで泣く泣く抜粋でお届けします(T-T)

一度この業界を挫折したものの、このままでは終われないと
戻ってきた清水さんの熱い話、いや熱い人生を語っていただきました。

「時間は全ての人に平等。あとは理不尽。」
極論のようですが、これが清水さんの行動原理なのでしょうか。

「睡眠時間4時間」「テレビ壊した」etc..
いやいやいや真似出来ませんよ!と心の中で叫びつつ
何でそんなことが出来てしまうんでしょうか。

「そっちの方が大事だった」
納得するしかないお言葉です(^_^;
清水さんは「これ以上やったらダメ」というレッドゾーンを御自身が認識されていたことも強みなのでしょうね。

そんな半端ない覚悟に参加者のみなさんも
「自分は甘いかもしれない・・・」と感じたのでは。

- ・ソフトウェアの世界に銀の弾丸はない。他の方法を探さなければならない。
- ・人より先に察知しなければならない
- ・時代の変化を予測して準備すれば誰よりも先にチャンスをつかむことができるはず

準備、練習というとても重そうなのですが、
カンニングOK(見ながらやってもOK)、
フライングOK(先に勉強してもいい)。
と言われると少し気が楽になりますね。

こうして自身の成功を手にして普通はそこで満足するところ、清水さんはさらにもう一段階先に進みます。
自分の周りには自分の倍以上かかってバグをたくさん出している人がいる。
日本のソフトウェア産業を何とかしなければ。
自分から周りへ。

さすがの清水さんも「このとき日本のソフトウェア産業に働きかける言葉はもってなかった」といいます。
しかしそこで終わるわけではなく考えに考え続けて、今の御自身があるとおっしゃっていました。
考え続けること。書き続けること。簡単そうで難しい。。。

考えた後は「何気なく」とか「見なかったことにする」
そんないすれ人格を毀損するような仕事の仕方ではなく考えたことを実現する技術も必要となります。

全ては自分から動かないとはじまらないこと。

心が変われば態度が変わる。

「心「を」変えれば態度が変わる」

「が」を「を」に変える、すなわち「能動で人生を創る」。



まさに自身の力で築き上げてきたのがわかるからこそ心に伝わる言葉でした・・・。
素晴らしい講演をありがとうございました。

私の文章で1%でもあの衝撃が伝わっているでしょうか。

みなさんに負け時と私もいい仕事をしてまずは「親孝行」に繋がりたいですね。(さわちよ)

◆おまけ

クロージングセッションの前には著書「我がSE人生に一片の悔いなし」にサインと握手を求める参加者が続出！それに笑顔で応じていただいた清水さん。熱いだけでなく、とても気さくな方でした★



■クロージング！

■池田 暁



◆実行委員長の言葉。

2日間みなさんお疲れさまでした。外もいい天気にも恵まれました。

顔を拝見するとみなさん良い顔をしています。

WACATEは今回で5回目になりますが、この不景気の中60名近く集まり、講師スタッフいれると80名近く。うれしさで胸がいっぱいです。

清水さんの仰っていた「心が変われば～」を「心を変えれば～」、まさにWACATEはそのメッセージを送っています。

今回半分が初回の参加者です。ほとんどが初対面なのに2日目の朝来てメトリクスのセッションの盛り上がりを見ているとまるで旧来の友人のようでした。

これは自分たちが前向きに「が」を「を」にかえた結果です。

さらにここから2段階、3段階「が」を「を」にかえて人生を良いモノに変えて行き、それを御両親に見せて欲しい。

◆ポジションペーパー表彰式

青くない副実行委員長

●Biased Favorite Paper 賞

ゲストスピーカー清水様が選ぶポジションペーパー
上田和樹さん

[清水様のコメント]

ポジペには自分のためだけでなく地域のため、会社のためというところに目線が置かれていた。

私の話とつながるところがあった。

まずは自分のためでいい。

ただし、いつまでもそれじゃいけない。

●Most Accelerating Paper 賞

実行委員が選ぶポジションペーパー
相羽広高さん

●Best Position Paper 賞

参加者が選ぶポジションペーパー
永田敦さん



[永田さんコメント]

思いもよらない受賞だった。

今回のテーマは基礎力。

実は社内でソフトウェアテストの基礎を受講した。

これが凄く難しかったが強烈で得られるものがあった。基礎は難しいが頑張れば・・・そういったメッセージが通じた。

みなさんと一緒にWACATEで基礎をやりながら次のステップへ行きたい。

◆2日間を振り返って…

その後、恒例委員長による2日間をまとめた動画の上映がされました。

委員長、この製作のため毎回全然セッションが見れてなかったりします。

ギリギリまで格闘する姿をみなさんにも見せたいくらい気合の入れようです(^^)

◆最後に

最後に再び委員長より。

仕事は人生の半分以上。

楽しく笑いのあるエンジニア人生を。

Blog や SNS で日記を書こう！

出来れば TEF で話題にして皆で仲間を増やしていこう！

WACATE-Magazine に投稿しよう！

WACATE 実行委員にチャレンジ

場を作る側にまわると見え方が変わる

ぜひチャレンジしてほしい。

みなさんお疲れさまでした。

本当にみなさん2日間お疲れさまでした！！

(WACATE-Magazine 編集部)

■シメは恒例の！

冬なのにアツい2日を
ありがとうございました！！



We are accelerating!!



See you next "WACATE"!

僕のWACATE 2009 冬。

こんにちは、WACATE2009 冬で一班だった上田です。
2009年12月12日～13日に行われたWACATE2009冬の
参加レポートを書いていきたいと思ひます。
ちなみに、ボク自身は今回で3回目のWACATE参加に
なります。
(WACATE2008冬、WACATE2009夏、そして今回)

■まずは一日目！！

今回、私は前夜祭から参加しました。
三浦海岸についたとき、雨、風がえらいことになっ
ていて台風みたいな状況でした。。

(傘、ボロボロに壊れました。。)

明日、みなさん来るとき大変だろうなあ。。と思っ
ていたら、

当日、ビックリするくらいの天気の良いさっ！！

「いいWACATEになりそうだよ♪♪」

■オープニングセッション

9時30分、WACATE2009冬の始まりです。

司会はWACATE実行委員会副委員長の山崎さんです。
初めてWACATEに参加したとき、この瞬間が一番緊張
していました。

「二日間やっていけるのか」「まわりについていける
のか」いろいろな不安が巡っていました。

でも、この緊張も次のポジションペーパーセッション
で一気に解消されるのですっ！！

■セッション1.「ポジションペーパーセ ッション」

最初のセッションは自己紹介。

モデレータは引き続き、WACATE実行委員会副委員長の
山崎さん。

事前に書いたポジションペーパーを使って、同じ班の
メンバーに3分間自己紹介を行いました。

全ての班で一斉に自己紹介を始めます。

なので、ある程度声をはらないと、メンバーに声が届
きません。

一気に会場がにぎやかになります。

3分前に自己紹介をおわっちゃう方、自己紹介の途中
で時間切れになっちゃう方、時間ぴったりに自己紹
介する方。

なかなか3分という時間を使うのは難しいです。

ちなみに私は、自己紹介の途中で時間切れになっ
ちやいました。。

さて、一通り自己紹介が終わると、恒例の班換えです
っ！！

そして、別な班になって、2回目の自己紹介

3分間のうちに自己紹介をしたり、席を移動したり、
あっという間に30分や1時間がたってしまいます。

そして、不安や緊張もなくなっていたのです。

ボクが感じたキーワードは「声を出すっ！！」です。



■セッション2.「線・マニアックス」

いろいろな線やグラフについて、どのようなものがあるか、どのような活用があるかについてのセッション
です。

講演者は、WACATE実行委員会の村上さんです。

「一次関数」「二次関数」から始まって「信頼度成長
曲線」「ゴンペルツ曲線」「コード実装予定工数」「バ
グ発生グラフ」「COCOMO」、
さまざまな線が出てきました。

こうしていろいろな線やグラフを見てみると、日常の
業務で、全然「線」を使ってないなあ、、、と思ひまし
た。

線やグラフごとに村上さんが「知っている人」「使
ったことある人」と聞いていましたが、
「知っているし、実際に活用している」という線はあ
まりないようです。

いろいろな線を見ていると、線を書くことに気がいっ
てしまいますが、

線は「書く」のではなく、「活用(どのようなアクシ
ョンをするか)」することが重要。

例えば、「デバッグを強化しよう」「テスト計画を変更
しよう」などなど

最後に、村上さんからの問いかけですっ！！

「線は誰のために計る？」

お客様のため？上司のため？開発者のため？それと
も、自分のため？

ボクが感じたキーワードは「線は書くではなく活用す
る」です。

■ワークショップ1.「同値分割、境界値分 析」

さまざまなテスト技法でも使われる「同値分割」と「境
界値分析」について、実際に演習するセッションです。
講師は、WACATE実行委員会の奥村さん、加瀬さん、
加文字さんです。

演習対象は「パワーポイントのフォントサイズ設定に
関する同値分割、境界値分析」

同値分割の観点を決めて、その後境界値を設定するという流れです。

まずは、個人で行って、その後、班でディスカッション

●個人演習

いつも業務では、まずマインドマップを作って、その後一覧なりにまとめるというやり方をしています。

なので、この演習でもそのやり方をしました。

まずは「有効」「無効」にざっくり分ける

そしてそこから広げていって、

「有効」→「文字数(フォントサイズ)」「文字種別」「限界値」

「無効」→「半角、全角」、「数字、記号」

などなど、発想を広げていきます。

そして、一通りでつくしたなというところで、重要なものを選んでいきました。

「文字種類」「文字数」を観点としました。

●班でディスカッション

さて、班ごとに観点などについてディスカッションです。

話し合ってみると、「**同じ観点でも、発想の仕方が違う**」「**発想は同じでも設定される境界値が違う**」などなど、「全く同じ」というものはありませんでした。

さらに、観点として「ケタ数」という意見が出ました。ボクには全く出てこない発想だったので、「なるほどなあ」と感心しました。

同値分割と境界値分析は、考えれば考えるほど奥が深いです。

「何故、その同値に分けたのか」「何故、その境界値を選択したか」

んー、難しい(楽しい)ですねえ

ボクが感じたキーワードは「**同値クラスの観点**」です。

■ワークショップ2.「コミュニケーション、意識していますか？」

「相手への伝え方」「話の計画の立て方」についてのワークショップです。

講師・モデレータは、WACATE 実行委員会の小山さんです。

いままで「話し方」について、その中身を「整理」「分類」「再構築」などを行ったことが有りませんでした。

「**何故、相手に話が通じないのか**」

けっこう、話が通じなかったり、話が脱線していった、全然違う結論などになったりした経験があります。

伝えたいこと、行動してほしいこと(アウトプット)に対して、まずは自身がインプットを整理します。

その整理した内容をもとに「話の設計図」を作成します。

話の設計図とは「**何をしてほしいのか**」の意図を考えることで、話の内容を「分けて」→「それぞれに名前をつけて」→「並び替える」ということです。

さらに、話をする相手の立場などをふまえる必要もあります。

本セッションは、上記のことをふまえて、グループディスカッションを行います。

「**話の設計図を作って、相手に伝える**」

というものです。

班を3人3人のA,Bの2チームに分かれて、AチームはBチームに、BチームはAチームに要件を伝えます。ワークショップ開始とともに、お題が渡されます。

ボクが所属したチームへのお題は「**部下に JASST で論文を発表してほしい**」というものでした。

こちらの状況は「話をする相手の直属の上司」、相手の状況は「プレゼンが苦手」「仕事が忙しい」といった感じでした。

ワークショップの流れとしては、

- ・個人で話の設計図を作る
- ・チームで話あって、意見をまとめる。
- ・相手チームに要件を伝える。

です。

「話の設計図」を作成するということが自体初めての経験でした。

分類したり、整理したりすると何を話したいのか、何をしてほしいのかなど「**自身への整理が出来る**」と思いました。

ボクが感じたキーワードは「**話の計画**」です。



■ゲスト・セッション「プレゼンテーションのプレゼンテーション」

プレゼンテーションの心構え、プレゼンテーションのテクニックに関するセッションです。

講演者は、日本 IBM の細川さんです。

ものすごい量のキーワードやテクニックが出てきました。

「ストップモーション」「アイスブレイク」「全体を”Z”で見ていく」「机間巡回」「アイロック」「メラビアンの法則」・・・

「**1分に1つのキーワードを伝えます**」との予告どおりでした。

予稿集に目を通す時間はありません。

・訴求するもの

プレゼンテーションを行うのに、一番必要なものは「相手に訴求するもの」を自分自身で持っているかどうか。

訴求するものを持っていないと、何も相手に伝わらないし、例えば「プレゼンテーションの本」などを読んでも役に立たない。

・練習

「Plan」「Preparation」「Practice」「Presentation」の4つのPというお話がありました。計画をして、準備をして、練習をして、本番に臨む

・話の流れ

アウトラインを作って、それぞれを詳細化していくと、話の内容が長くなっていき、言いたいことが最後になってしまう。

さらに、全てがつながっているため、内容を飛ばしたり出来なくなってしまいます。

プレゼンテーションでは、例えば、時間が押して、自身の発表の時間が短くなった場合などを考慮して、話のポイント(キーワード)を3つ程度にしぼって、そこから詳細化していく。

「言いたいこと」を最初にもっていく。
など、話の流れを考える必要がある。

・どんどん登壇する

登壇する機会を逃さずに、どんどん登壇して行こう。登壇すればするほど、プレゼンテーションが身に付いていく。

セッションは30分ぴったりに終わりました。そして、画面に映し出されているパワーポイントのページはタイトルのままでした。ボクが感じたキーワードは「自分の中にはないものはプレゼン出来ない」です。

■セッション3.「情報探索キホンのキ」

参考文献や原典、ネットでそれらを探すための方法に関するセッションです。講演者は、WACATE 実行委員会の川西さんです。

川西さんから、7つの「Q」が出されました。

- 「Q. 参考文献は読んできましたか？」
- 「Q. 参考文献の参考文献は？」
- 「Q. 初めての言葉(知らない言葉)に出会った場合、どうしますか？」
- 「Q. 英語サイトも検索していますか？」
- 「Q. 論文も検索していますか？」
- 「Q. ひとつのテーマに関していくつの文献をあたるますか?(必ず2つ以上の文献をあたる)」
- 「Q. 見つけた文献どうしていますか？」

Qが出されるたび、へこんでいきました。。

何1つまともに出来ていませんでした。。なのでボクは「情報探索レベル0」。。
google や wikipedia でも、日本語サイトだけで検索すると、全体から検索するのでは、結果がまるで違うことがわかりました。

CiNii (<http://ci.nii.ac.jp/>)という論文情報を検索するサイトも紹介されました。

情報を検索するには、google などを利用するのは有効ですが、「必要な情報」に効率よくたどり着くには、工夫必要と思いました。

さらに、英文を恐れないこと。これも「必要な情報」にたどり着く大切な事柄だと思います。最後に川西さんから課題が出されました。

【課題】

「ポジションペーパー集から情報を探索せよっ!!!!」

何かテーマを見つけて、調べてみましょうっ!!!
ということで、ボクが感じたキーワードは「情報探索レベル0」です。。

■ディナーセッション



WACATE 名物、ディナーセッションです!!!
司会は、豆蔵の大西さんと WACATE 実行委員会委員長の池田さん、そして、、、スター☆やまさき~~~~~
♪♪♪♪

セッションが終わった後、一旦各自の部屋に荷物を置いて、お風呂に入って、浴衣みたいなのに着替えて、そして、宴会場に集合!!!

宴会場に入ると、すでに舞台にはギター、ベース、キーボードがセッティングされていました。これは、、、100%生で演奏するって感じです。

そして、みなさん集合して

「乾杯 っ!!!!」

あの会場全体での乾杯は感動しますね~♪
歓談タイム~。

お風呂に入ってからのビールはうまいっ!! 料理もうまい!!

ひとしきり経ったあと、今回の司会の大西さんと池田さんの登場です。

そして、ピタースイートサンバの BGM でスタートっ！！

WACATE に参加の申込みをする際に書いた「一言コメント」いじりですっ！！

みなさん、いろいろな思いで WACATE に参加しているんだなあという感じです。

その後、演奏が始まりました。

細川さんがギター、上田さんがキーボード、加文字さんがベース、そして、ヴォーカルはコヤマンさんっ！！

演奏はめっちゃうまいし、歌もうまいなあ〜と思って聞き入っていました♪♪♪

そして、曲終了

「あれ？スターは??？」

と、思っていたら、コヤマンさんから「スター」の呼び込みの掛け声があっ！！

60人で「やまさき〜」「やまさき〜」すごっ！！
リン・ミンメイ（スター☆やまさき）が登場してきましたっ！！！！

これはすごっ！！

（っていうか、はじめて参加された方、引いてないだろうか。。とちょっと不安でしたが。。）

すごく楽しみました。

その後、参加者プレゼントのコーナーです。

JaSST の予稿集などが抽選でプレゼントされました。ちなみに、今回、抽選中の BGM などが生演奏でしたっ！！

これは豪華としかいいようがないです。

楽しい、楽しいディナーセッションが終わって、さあ、「夜の分科会」ですっ！！

■夜の分科会

もう1つの WACATE 名物、夜の分科会です！！

1つの部屋に集まって、自分の興味のあるとテーマの「ところ」に行き行って話し合ったりします。

※「ところ」とは、部屋の入り口のところだったり、ソファのところだったり、畳の部屋だったりさまざまです。

ボクは、まず細川さんのところに参加していました。

細川さんのテーマは「プレゼン・バトル」あるテーマにそって、どちらがいいかをプレゼンします。

「聞いている人をどれだけ、自分の意見になびかせられるか」を勝負します。

「〇〇なら、こっちがいいか、あつてがいいか」に分かれて対決します。

考える時間は1分、プレゼンする時間も1分。

「明日の朝、最初に飲むのであればコーヒーがいいか、紅茶がいいか」

「旅行に行くならイギリスがいいか、アメリカがいいか」

「仕事が終わった後、飲むならビールがいいか、日本酒がいいか」

これは、面白かったですし、持ち帰って自社でも出来そうです。

終始笑いが絶えませんでした〜

その後、ボクは清水さんがお話されているところへ参加。

お話の中で、バグは「生活習慣病」のようなもの。いくら薬を飲んでも、例えばちゃんと寝たり、食事をちゃんとしたりなど、根本をちゃんとしないと、またすぐ症状がでてくる。

これは、心に響きました。

んー、はじめからお話を聞きたかった。。

そんな、こんなで23時になって、分科会も終了。

みなさん、お部屋に戻りました〜。

ボクは、部屋に戻ったあと、ポジションペーパーを呼んでいました〜。

■そして二日目っ！！

二日目もめっちゃう天気良かったですっ！！！！

「いい WACATE になりそうだ♪♪♪」

■ワークショップ 3. 「メトリクスの Why を考えよう」

メトリクスの使い方、GQM の実践に関するセッションです。講師は、WACATE 実行委員会の原さん、村上さんです。

GQM についての考え方と、「コメント率」というメトリクスを使っての実習という内容でした。

「ゴール」のための「クエスチョン」を考える。そのためのベースとなる材料が「メトリクス」。

「コメント率」というメトリクスから GQM を導き出す。コメントで思いつくこととあれば「必ずコメントを入れる」「後から見てわかるようにコメントを書く」「ソースを修正する際は コメントも修正する」などしかありません。

なので、まず、「コメント率」というものを測るという発想がありませんでした。

映し出されたコメント率のグラフを見ていると、「ほとんどコメントしかないソースがあるなあ」

「まったくコメントがないものがあるなあ」

「コメント率が一定に続いているものがある」

「コメント率がだんだん上がっているところがある」

そこから想像するに、
「コメントしかないソース→使われてない？スケルトンのまま何も書かれていない？」
「コメントがないソース→急いで作ったクラス、機能？」
「コメント率が一定→コピペ？」
などなど、いろいろ見えてきました。
全く関わっていないプロジェクトだし、何よりソースコードなどは全く見ていない。
ただ単にコメント率を測定したグラフだけで、このような開発の背景だったり予想できるとは思いませんでした。

本セッションは個人演習 班でディスカッション発表という流れで進みました。
それぞれのグループのコメント率メトリクスの GQM 発表をまとめると次のような感じになりました。

【G】

手戻り工数が減る
少ない負荷で解決
コードの保守性が高い
テストケース作成時に問題を見つけやすくなる
手戻り工数を減らす
プログラムレビュー効率を上げる
問題とする原因、対策を見える化するプロセス作り
コードの保守性をアップする
コードの品質確保（移植性、保守性）
コードの流用時の品質チェック

【Q】

ツール以外の情報を含めているか？
ソースコードはシンプルで見やすい？
保守コストの高いモジュールはどれ？
手戻りコストの高いモジュールはどれ？
コードの保守性は良いか？
良い状態を維持出来ているか？
問題を見える化する手段があるか？
コメント率が急激に変化していますか？
品質の高いコードレビューを実施しているか？

【M】

コメントのルールがないんじゃない？
担当者をフォローしてないんじゃない？
コメント率が高ければ高いほど、プログラマがコードを知らない可能性が高い
コメントのばらつきに着目するコメント率は測定の負荷（手間）が非常に少ない

【誰のため？】

プロジェクトリーダー
プログラマ保守担当者
経営者
お客様
開発者
テストマネージャ
レビューマネージャ
設計する人

レビューする人
ソース書く人
単体テストする人
【フェーズ開発】
単体テスト、結合開発、運用開発、単体、結合、Sys 開発、保守
【重要度】
高
【測定負荷】
低
【測定単位】
プロジェクト



重要度は「高」、測定負荷は「低」というのが全ての班で共通した結果でした。
誰のために測定するものかについては、いろいろな立場の人が出てきました。
コメント率の収集、分析は「少ない想定負荷で多くの人のためになるもの」
さて、このコメント率というものですが、標準や規格としてあるものではなく、独自のものらしいです。

村上さんのセッション「線・マニアックス」でお話にあった「必要な線は自分で作る」を思い出しました。
ボクが感じたキーワードは「目的を試行する」です。

■ポジションペーパー投票

お昼休みのうちに、ポジションペーパーの中から一番自分がいいと思うものを選んで投票します。
一番票が多かった方は「ベストポジションペーパー賞」に輝きますっ！！
（ポジションペーパー、自己紹介だけのものではないんですね）
さてさて、今回はどなたがベストポジションペーパーに輝くのでしょうか？
それは、クロージングまでのお楽しみ♪

■BPP セッション 1. 「変化の中でテストしてみての気づき」

ベストポジションペーパーを受賞した方によるセッションです。
最初の BPP セッションの講演者は WACATE2008 冬でベストポジションペーパー賞に輝いた近江さんです。
（ちなみにベストポジションペーパーは WACATE2008 冬から始まりましたっ！！）

「変化」というテーマでした。
先が見えない状況だと、見通しが立てられない。で、計画を立てることも出来ない。
「確かに！」「確かに！」と思うところばかりでした。
見えない状況に対処するために、プロジェクトの状況「こういう時にこういうことを行った」「こういうことを行ったら、改善した」を記録していき、別なプロジェクトで同じような事象が発生

した場合に役に立てる。→情報の蓄積
もう1つ、テストを観点に基づいて設計する。

観点に基づけば、仕様変更など発生したとしても、根本は変わらないので、変化に対応出来る。→テストの観点

変化や変更を拒否するのではなく、対応出来る状況や状態を作っておくことが重要かと感じました。

ボクが感じたキーワードは「変化を受け入れる」です。

■BPP セッション2. 「品質について考える」

ベストポジションペーパーを受賞した方によるセッションです。

続いてのBPPセッションの講演者はWACATE2009夏でベストポジションペーパー賞に輝いた渡辺さんです。

「WACATE前」「WACATE後」という観点での品質についての意識の変化についての内容でした。

WACATEに参加する前は、「仕様通りに動けばいい、テストは動作確認の手段」という認識。

それから「本当にこれでいいのか?」「クライアントは満足しているのか」という意識から、WACATEへ参加したとのこと。

WACATEに参加してからは「経験からしか得られないもの」や「経験がなくても知ることができるもの」など、自分の観点を広げているとのこと。

ボクも、「WACATE参加前」、「WACATE参加後」で、考え方が全然変わっています。

考え方が変わると、行動が変わることを実感しています。(まさか、WACATE-Magazineの編集に参加するとは、という感じです)

ボクが感じたキーワードは「前に出る」です。

■グループディスカッション「技術者としての心、態度、習慣」

技術者として、どういった心構えを持つべきか、どういった態度を取るべきか、さらにどういった習慣を持つべきかをグループでディスカッションします。

モデレータは、WACATE 実行委員会副委員長の山崎さんです。

さっそく、どのような心と態度と習慣を持っているかの個人演習が行われました。

その後、グループで発表です。

ボクの班では、書いた内容を回して、全員読んでいきました。

やはり、「いろいろな考え方があるなぁ」と感じました。

このままディスカッションと思いきや、班替えが行われました。

いままでの班は、20代、30代、ベテランなどがいい感じで組まれていましたが、班替えで同じような年齢、立場の方々が組まれました。

ささっと、班替えが行われ、新しい班で簡単な自己紹

介を行って、グループディスカッションの続きです。そして、ディスカッションした内容をもって、グループ発表になります。

発表を聞いていて、班ごとに「色」があると感じました。

「探究心」「プロ意識を持つ」「向上心」「アンテナ」「リスペクトする」「志は高く、腰は低く」「インプットを拒否しない」「ヒューマンスキルを身につける」「初心を忘れない」・・・

さまざまな「心と態度と習慣」の発表になりました。但し、どの班も1つだけ共通しているものがあります。それは「笑い」をとることでした。

今回だけでなく、クロージングセッション前のグループ発表は、「笑い」を含んでいる発表になります。

大変勉強になりましたっ!!
ボクが感じたキーワードは「考えるキッカケ」です。



■クロージングセッション「先人の生き方から学んだSE人生-自らも”莫作のカ”を求めて-」

WACATE2009冬、最後のセッションです。

講演者は、システムクリエイツの清水さんです。

※是非、WACATE-Magazine Vol.12をお読みいただきたいです。

技術で解決できるもの、技術で解決できないものがある。

テストの本、設計の本だけでは、行き詰まるし、ある程度まで行くと止まってしまう。

(業務を遂行するために必要な技術を習得するために勉強した場合、業務が遂行できるようになると勉強しなくなってしまうなど)

人生のゴールを設定することで、そのゴールに向かうためにはどうしたらよいか、どのような行動をとったら良いかの指針になる。

(経済的なゴール(家をもちたい、車がほしい)は、簡単に変えることができってしまう)

仕事を行う上では、「カンニングOK」「フライングOK」「合わせ技OK」

それらをふまえて、仕事は「一発OK」の結果を出さないとならない。

そのための準備を万全にする。

万全な準備のために情報収集を行う。(ニュースなどは、単に見るのではなく、自分にどのような影響があるか、という観点でみる)

例えば90年代に「MS-Project」や「CASE ツール」などが出てきた。使えないものが世に出るはずがない。**絶対に必要とする人たちがいる。**

「これはどうなんだろう？あれはどうなんだろう？」と**考え続けることが大事。**

但し、考えるだけでは、次の日もまた次の日も同じ点から考え始めるので、進むことが出来ない。そのため、考えたことをメモに残しておく。さらにそのメモに付け足して考えていく。

「心が変われば態度が変わる、態度が変われば行動が変わる、行動が変われば習慣が変わる、習慣が変われば人格が変わる、人格が変われば運命が変わる、運命が変われば人生が変わる」

最初の部分を能動的にすると、

「**心を変えれば態度が変わる・・・**」

「**自分から動け**」というお言葉、心に響きました。

■クロージング

二日間を締めくくるクロージングの司会は、WACAE 実行委員会委員長の池田さんです。

各**ポジションペーパー賞**の発表と**WACATE2009 冬のダイジェスト動画**の上映です。

ポジションペーパーの発表は今回も

「ゲストスピーカー」が選ぶ

「Biased Favorite Paper 賞」

「WACATE 実行委員会」が選ぶ

「Most Accelerating Paper 賞」

「参加者」が選ぶ「Best Position Paper 賞」

の3種類っ！！

「もしかしたら選ばれるかもっ♪」ってワクワクしていたのですが、今回も選ばれませんでした。。(次、ガンバルっ！！)

ポジションペーパー賞の発表の後は、恒例の**WACATE2009 冬の二日間を振り返る動画**の上映ですっ！！

今回は「天使の絵の具」の曲にのせての動画でしたっ！！！！

「あ 最初こうだったなあ 」

「あ こんなシーンもあったんだあ 」

曲の1コーラスが終わって、2コーラス目が終わって、と進むにつれて

「あ 終わっちゃうんだなあ 」

と、感動していました。

直前のクロージングセッションのときの写真も使われていて、「**いつ編集してたんだ？**」と内心ビックリしていました。

ボクが感じたキーワードは「**天使の絵の具**」です。

■WACATE ポーズっ！！

最後はみんなで記念撮影です。

マホロバ・マイنز別館の玄関に全員集合っ (さすがに60人くらいが集まるとぎゅうぎゅうな感じですよ)

全員で WACATE ポー~~~~ずっ！！

・右上斜め45度を向くっ！！

・右手をまっすぐ伸ばして っ！！

・視線と同じ方向に指さすっ！！

パシャ！！！！



■WACATE に参加して

夏のWACATEは「1つのものを集中して行う」のに対して冬のWACATEは「いろいろなことを行う」というテーマがあります。「いろいろな線やグラフ」「同値分割、境界値分析」「コミュニケーションの仕方」「GQM」「プレゼンテーション」など、さまざまなセッションがありました。

全てのセッションが独立しているかのように感じましたが、振り返って考えてみると、**各セッションが実に結びついていることがわかりました。**

グラフや同値分割、境界値分析は、二日目に行うコメント率のGQMを行うベースとなる知識ですし、コミュニケーション・セッションでの話の設計図の作り方も二日目の「技術者の心、態度、習慣」を考えるベースになりますし、そもそもグループで話合うこと自体に関係してきます。

さらに、「技術者の心、態度、習慣」のセッションで、自身のことを考えることで、次のクロージング・セッションでの清水さんのお話がより**吸収出来たのかなと感じます。**

今回もたくさんものを持ち帰ってきました。

毎回WACATEにいった次の日から、**ビックリするくらいモチベーションが上がります。(明らかにまわりと空気が違うのがわかります)**

何故なんでしょう？

「テストの話を存分にできたから？」「WACATE だから？」いろいろな感じ方があると思いますが、ボク自身は、「キッカケ」をもらったからかなあと感じています。

でも、まだいろいろなことを知った「気」になっているだけです。

しっかり振り返ったり、

1つ1つ勉強していったり、

社内の人に得たものを広めていったり、

やるべきことが盛りだくさんですっ！！！！

「WACATE」ありがとうっ！！！！！！

書いた人：うえだ

WACATEの楽しみ方

■WACATEの楽しみ方 おたべ編

WACATE 関係者の皆様、あるいは興味のある方、こんにちわおたべです。

WACATE 参加経験者には聞くまでも無いことなのですが、WACATE は楽しいですか？ 一泊二日の合宿中で多くのセッションや参加者との交流を通じて様々な経験や気づきが得られたことと思います。参加者それぞれに得るものの大きいWACATE を更に楽しむために、WACATE 常連参加者である **おたべ流の楽しみ方** を現場レポートも交えて紹介させていただきます。

■当日までの準備

WACATE 参加登録後にまず必要なのが **ポジションペーパー** (ポジペ) の作成です。ポジペは主に自己紹介に使われる資料ですが、常連参加者の私にとっては半年間の成長の記録であり、当日選出されるベストポジションペーパー(ベスポジ)賞を狙うための大事なアイテムでもあります。

ここで課題となるのが参加者全員分のポジペを集めると 60 ページ以上になり、個々のポジペを読むのにあまり時間を掛けられない点です。短時間で読み手にこちらの意図を伝えるために、印象的なタイトルや簡潔で分かりやすい文章および心を掴んで話さない内容など、**参加者の得意とする方法でアピールするチャンス**です。私の場合は自分のポジペは「書く」ことより「描く」ことを重視しています。イラストは文章を目で追うのと違って一瞬でイメージが頭に入りますので、サッと眺めてもそれなりに言いたいことが伝わるのでは無いかと目論んで作成しています。



ちなみに私はベスポジ賞を受賞した際、原稿まで用意していましたw。

■当日の持ち物

指定された持ち物以外では、**サイン用の本**があると思い出の一品になります。また**趣味の品々**も場を盛り上げたりコミュニケーションを円滑にするのに役立ちます。WACATE 前夜祭では持ってきた写真アルバム中のお台場ガンダム写真がクリティカルヒットしたり、過去にはギター持参で場を盛り上げた猛者もいました。その他にも音楽やゲームなどの話題で「アンタもそうなの!？」と意外なほど話題が共通し、そこからガンダムのコアブロックシステムに必要なテストとは何かなど話が発展したりもします。土日にワザワザ合宿に来る時点で似たもの同士ですので、更にツッコンで曲者同士の付き合いにまで進むと WACATE 終了後も縁が続いてきます。

あと持ち物ではないですが、**仕事上の悩みも持って行きバンバンぶつけていくこと**をお薦めします。前後夜祭、ディナーセッション、温泉、部屋に戻ってからなど、仕事では相談しにくい内容でも気軽に打ち明けられるのが WACATE の良いところなので、悩みが多い人ほど得られるものも多いのではないのでしょうか。



■前後夜祭

お祭りの前日や終わった後は期待と開放感でテンションが高くなるものですが、WACATE の前後夜祭でも同様です。各地域の観光名物や趣味など全然テストと関係ない話で盛り上がりもしますが、たまたま出てきた「こんな事やってみたい」の一言が沢山集まってさらにブレインストーミング的にアイデアが広がって、実際に WACATE ShortShort など幾つものイベントとして実現しています。

ただの飲み会かと思われるかもしれませんが、すごいエネルギーを持った人達が集まって思いもよらない**新しい何かを生み出すのに欠かせない場**であったりもします。酒の席において立場不問で忌憚らない意見を交わすのもかなりエキサイティングな経験が出来ますよ～。



■グループ演習

WACATE のセッションの多くはグループ演習が行われますが、私が一番気を付けることは**全員参加で納得のいく成果物を完成させること**です。結果はもちろん過程も重視しますので、目の前の問題に集中しているメンバーから一步下がって最終目標を再確認することで軌道修正したり、他のメンバーの発言を「それってこういう事？」と表現を変えて反復することで情報をズレなくメンバー全員で共有したり、調整役に徹するよう気を付けています。グループワーク中あまり発言されない方も、話を聞いてみると様々な立場や観点からの意見が出てきますので、全員から意見が出てきやすい雰囲気を作れるかが足りないながらも力の見せ所です。

■ディナーショー

ディナーショーは参加者同士の会話も楽しみなのですが、一番は WACATE 実行員自らの文字通り体を張った盛り上げが注目的です。カメラを片手に最前列を確保して待っていましたが、最初は定番の参加者からのメッセージ紹介に始まり、次はバンド「Cool-X」のライブ演奏が始まった！何気にバンドメンバーの分布が東京から北海道まで広がっているのですが、何時練習してんの！？と不思議に思えるぐらい息の合った演奏で、実行委員の本気具合が素晴らしい演奏でした。



そして真打ち**スター★やまさき**の登場！基礎・覚えていますかのテーマ曲にそって今回も魅せてくれました。その後のプレゼント抽選会まで熱い空気は冷めることなく夜の分科会へと続いていきました。



■夜の分科会

テスト関連のテーマに沿って、ひたすらディープな時間を過ごしていきます。また WACATE 開催中で講師やゲスト、実行委員ともしっかりと多く話せる時間です。そんな分科会の一つで昼にプレゼンテーションのセッションを講演された細川氏の分科会では、参加者も交えてプレゼン合戦が行われました。



ここで、プレゼン合戦お題「酒の後に食べるならラーメンとカレーどちらがいいか？」で見事細川氏に勝利した中岫(なかくき)さん(北海道から参加!)に感想を頂きましたので紹介します。

WACATE ではあの細川さんとのバトルが一番の思い出になっていますww

勝利要因は3点

1. 細川さんは酒を飲んだ後のあの感覚を知らない
2. ラーメン vs カレーでは圧倒的にラーメンが優位
3. 北海道人にとって、ラーメンは得意分野

本当は対戦相手が細川さんじゃなければ、「カレー(スープカレー)」で勝負してみたかったのですが、少しでも勝てるように優位な方の「ラーメン」を選択しました。

自分じゃなくても「ラーメン」が勝ったかなと思います。

実際、自分がお酒を飲んだ後にカレーを食べたことがないので、カレーのプレゼンをしたらどうなったことやら…。

ただ、そこは「WACATE」と言う場所なので、「カレー」で冒険しておけば良かったかなと思っています。

あと、細川さんには、「勝った」というよりも、「**勝たせてもらった**」と思っています。(どっちにしてもうれしいですが)

◆WACATE 終了後

WACATE は遠足とはちがい、職場に帰ってからの本番です。今回学んだことや自分に不足しているものを見直して技術や心を磨いていき、WACATE で知り合った人達と日常でも交流を深めていければどんどん自分の世界が広がっていき、次回のWACATE にも笑顔で参加出来るようになるでしょう。

■初参加者からの声

実は今回のWACATE、初参加者が約4割になりました。ここでは同じ班や部屋で親しくなった方達の内でも初参加された方達にWACATEの感想を頂きましたので紹介します。

◆河本さん

今回初参加となった河本です。WACATE2009 冬参加者の皆様、お疲れ様でした。特に実行委員の皆様、見えないところでいろいろな苦勞があったと思いますが、当日の円滑な運営ぶりには目をみはるものがありました。

参加してみて最も印象的だったのは、皆様の**モチベーションの高さ**です。

初参加の方は少しでも多くのことを吸収しようと必死でしたし、常連の方は一歩引いた場所から初参加の方をサポートして場や議論を盛りあげようという姿勢に徹していました。

また、所属や分野は異なるものの共通の目的を持った人たちが集まるとコミュニケーションの質・量ともに加速度的に高まっていくことを実感しました。会社に命令されて参加するようなセミナーではこうはいきません。**We are accelerating!** はまさに今回の「事件」を的確に表現した言葉だと思います。

個別のセッションでは、やはり**清水さんのお話**が一番心に残りました。かまなくてもよいことをしてしまう「**奉公の力**」は技術者という枠を超えて、人生そのものの究極の目標と言ってもいいような気がします。日々の業務に追われているとこのような心境は想像することも難しいですが、たまには休憩や寄り道をして、高い視点でものごとを考えてみるのもよいですね。

なお、**今回の合宿内容を職場内にフィードバックしたところ、WACATE に興味を持ってくれた方が複数いました。**

今後とも何らかの形でお手伝いできることもあるかと思っておりますので、どうぞよろしく願いいたします。

◆市川さん

皆さんこんにちは。WACATE 2009 冬へ初参加の市川と申します。私は現在ソフトウェアの開発の作業に携わっていますが、**テスト工程や品質についての勉強不足**を常々感じて、悶々と現状の打破を模索する中でWACATEの活動を知り、参加してみようと考えようになりました。

このような社外の活動も、ワークショップへの参加も初めてで、いろいろ不慣れなことが多かったですがベテラン参加者の方々や同じ班の方にいろいろと助けて頂いて無事に完走することが出来ました！ありがとうございました。

感想としては、セッションや演習はもちろんですがそれ以外の時間で**テスト技術者の方や他社の方々と業務の関係なくお話をする経験が出来て、非常に刺激になりました。**よくよく考えてみると、普通に仕事しているだけではそういう機会は皆無でした。

また、いままでも自分が勉強不足であることは重々承知していましたが、こういう場に飛び込むことで、どのくらい勉強不足かということがより具体的に見えるようになったと思います。なんとというか、わかったつもりでわかっていないという事が良くわかりました^^;

クロージングセッションでも出ていましたけれど勉強だけで終わらせるのはもったいないので「**勉強は終わった。さあ実践だ!**」というかんじでまだまだうまくいかないことだらけですが、業務に生かすように心がけていきたいと思います。

最後に、実行委員の皆様、参加された皆様、充実した2日間をありがとうございました!!

◆うじはらさん

私は、今回初めて WACATE に参加しました。噂に聞いていたとおり、本当に熱い方々が集まっていました。経験を積んだ先輩や、私と同じような思いをもった方々と2日間を通して語りあうことで、自分の考えを整理でき、新たな気づきに会うことができました。

今回のワークショップでは、業務上の関連ステークホルダと、より潤滑に、より効果的にテスト活動を進めるための様々な方法を検討しました。**私たちが普段携わる仕事は、けして一人で全てをこなしているわけはありません。**たくさんの人々と関わり合い、よいモノを作りあげようとして取り組んでいます。例え、私たちテスト技術者がどんなにいいテスト技術を使用して、自分の満足のいく結果を見い出せたとしても、それが、**自分以外にうまく伝わらなければ意味はありません。**テストの技術力だけではなく、伝えるべき内容の分析や、ヒトへのモノの伝え方など、テストを行う上で関連する様々な活動の質を上げることによって、私たちが行うテスト活動は、効果をあげることができるのだと気がきました。普段、何気なくこなしていた活動の質を、この機会に見直してみたいと思います。

また、清水さんがおっしゃった、「死を目前にしたとき、自分の人生を振り返ってニコッと微笑むことのできる人生を送る」という言葉を、大切にしていきたいと思います。せっかくの人生、後悔の無いように、これからの人生(テストに対する取り組み方も含め)をしっかり見つめなおし、ちゃくちゃくと施策を取り組んでいきたいと胸に誓いました。

最後に、有意義な時間を提供して下さった講師、運営者、参加者の皆様に感謝致します。

◆りんさん

「WACATE 2009 冬を振りかえって」

WACATE に参加させていただき、ありがとうございます。6班の”りん”です。

社内では、プロジェクトのソフトウェアテストをすすめていく傍ら、テストの改善活動もすすつつですが、進めております。

今回、”WACATE に参加しよう!”と思ったのは、**”テストの改善活動”がまわりのひとになかなか理解してもらえない。**といった”壁”にぶつかっているためでした。^^;)。

そのような中で「コミュニケーション」、「プレゼンテーション」、「メトリックス」といったセッションは、まさ**”渡りに船”**、とても聞きたい内容でしたし、とても参考になりました。参考図書も、まだまだ全然読めてませんが、今後、しっかり読んでいきたいと思っています。

また、清水先生の”もう一度、やってみよう。自分の納得のために!”や”莫作”などのことばも、心に残るとても大切な言葉だとおもいました。

今回、教えていただいたことを基に、**壁をブレイクスルーしていきたいです!**

2009.12.20

by りん

WACATE 2009 冬 Best Position Paper 賞受賞者レポート

WACATEの心を持つオヤジ

WACATE 2009 BPP 受賞者：永田

あまり本人はオヤジだと思っていないところが始末に悪い。これは、WACATEに常連で参加するオヤジの共通属性である。威張っている奴はいない。だからオヤジオヤジと言ってほしくない。仲間なのである。ただ、常連であるがゆえに少し場馴れしているだけ落ち着いて見えるのである。

想を聞いてみると口々にそれぞれの気づきを話してくれる。“もと“を取ったかいと聞くと、ちょっと遠くに目線をやり、今まで味わったこともない二日間を思い出しながら、”十分取った“と返ってくる。リピーターも多いが、今回の特徴は今回初めてという人が半数もいたことだ。若手の比重も高い。勉強のためにこれだけのお金を自腹を払って出てくるほどのモチベーションは一体どこから出てくるのだろうか。それは、WACATEの心である。

1. 帰りの電車

WACATEが終わった後の帰りの電車の中。昨日に初めて出会った若手とはもう仲間だ。感

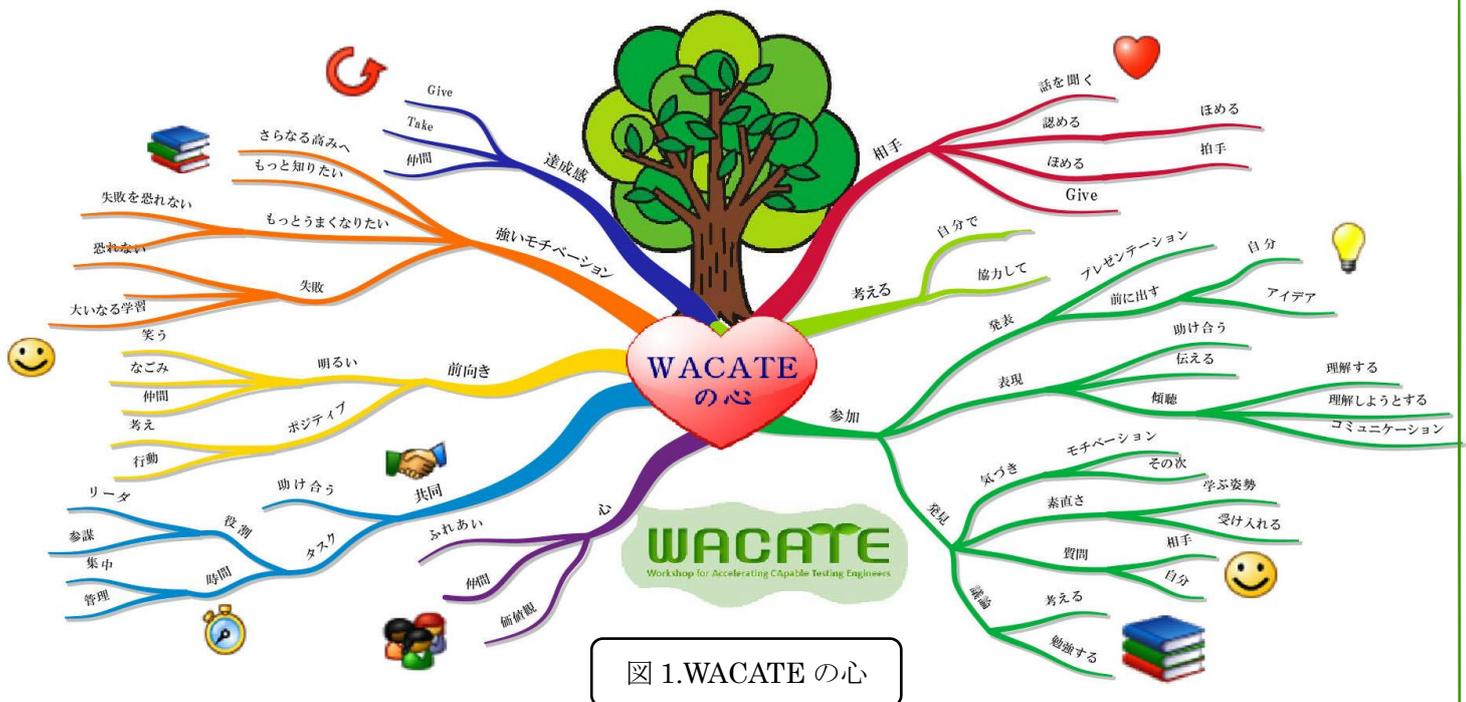


図 1.WACATE の心

2. WACATE の心

WACATEの心テーマにマインドマップを書いてみると図1のようになる。

このように見てみると、実に巧みなファシリテーションを行いながら、グループで学習する形態をとっていることが分かる。そしてすごいのがそのファシリテーションが自然にグループから出てきていることだ。もちろん、それぞれのセッションのプレゼンターがガイドがうまいこともある。でももっと重要なのは、グループの自発的な活動である。ベテランも少しは手伝うが、常連や1回出た人が引張っていく。

初めは少し硬い感じが、セッションが進むにつれほぐれていく。それぞれの個性が出ながらも、協力し、議論し、考え、そして失敗する。その中で、短時間でグループでまとめていく力、コミュニケーション能力、傾聴、プレゼンテーション能力、実はこれらの総合的な作業を集中して行っているのである。しかもそれが楽しいのである。

それぞれが主役であり、参加している自覚を持っている。実行委員が企画制作をしているが、実際のWACATEをドライブしているのは参加者全員である。実行委員長のカリスマ性がどんなにすごいといっても、副実行委員長がどんな

にすごい"スター"であっても、実行委員がどんなよいコンテンツを作って、どんな大物の先生を連れてきたとしても、参加者が乗らなければ WACATE は全く成り立たない。このグループで、協力し合いながら学んでいくという学習形態を"Cooperative Learning"と呼ぶ。なかなか出来るものではない。なぜここでできているのだろう。なぜ続けているのだろう。いろいろな仕掛けはあるけれど、これはやはり奇跡の集まりだ。

3. なぜ WACATE にはまるのか

この学習空間を作り上げるのは実は非常に難しい。WACATE に参加すると錯覚を起こす。ワークショップというのはこんなに効果があるものだ。そして、わが社でもワークショップをやってみようと試みると、これがうまくできない。まずは、ワークショップという人が集まらない。演習がいやなのだ。失敗がいやなのだ。座学を聞いて終わらせたい。人前で発表するのがいやだ。恥ずかしい。でも、WACATE を味わっている者にとって、これこそが重要なことに気づく。ワークショップにおける気づきは非常に学習効果が高い。それを支えるのはソフトウェアテストに対する共通の思い、ソフトウェア品質に対する共通の価値観である。お互いに学びあい助け合い認めあう心、それに触れたときにみな WACATE のとりことなる。

4. 今回の WACATE

すごかったです。コンテンツの質の高さ、基礎と言いながら、さすが WACATE であった。圧巻は二日目の午前中のメトリクスセッション。誰が喜ぶのか？目的は？このセッションのガイドはメトリクスに対する本質を考えさせられた。一番の収穫である。ただ唾然としたのは、細川さんのプレゼンテーションのプレゼンテーション講演。前だけをみて、一枚もスライドをめくらず、ツイッターキラー、マインドマップキラーといってメモを取らせず引きつけ、プレゼンの

ノウハウを機関銃のように披露したあつという間の30分。ため息が出るばかりであった。そして、クロージングセッションでは感動とともに元気をいただいた清水吉男先生のお話。実行委員よるセッションもよかった。線マニアックス、NLP がでてきたり、もっと論文を読むようにと叱られたり、基本の基本を改めてみんなと学ぶ。

そして忘れられないのが、“あの”スターでしょう。そして、今回はプロの豪華バンドが登場、私はかぶりつきでありました。リードギターの超絶技巧、この日のための夢のワンタイムバンドにコンサートは一期一会であった。

それからそれから、忘れてならない夜の分科会。今回は大きく二つにわかれ、私は、プレゼン分科会。1分間1本勝負。お題をもらってプレゼンをし、皆に判定してもらう。細川さんの軽妙な解説に聴き惚れながら、私も勝負に参加したがあえなく敗退。

毎回趣向を凝らした巧みな企画は他に例を見ない。今回も期待に違わずミラクルなワークショップを体験させていただいた。

最後に、オヤジの心得三カ条。

- 一つ 初心に戻る
- 一つ うんちくを垂れない。
- 一つ 仕切らない。

これを心の中にひっそりと持ちながらまた参加したいと思います。仲良くしてください。

今回、思いもかけず BPP に選ばれたことを光栄に思います。ありがとうございました。

以上

嵐ではじまった前夜祭

WACATE Short Short vol.9 Report

WACATE2009 前夜祭 幹事 すずき しょうご

WACATE2009 冬に参加された方々、2日間お疲れさまでした。そして、前夜祭に参加されたコア(?)な方々、前夜を含めた3日間お疲れさまでした。

今回の前夜祭には、合計11名の方が参加して下さいました。本当にありがとうございました。

今回、WACATE-Magazine vol. 13は「WACATE2009 冬特集」ということで、前夜祭レポートのスペースをいただきましたので、前夜祭の内容を簡単にですが報告いたします。

■嵐のなかでの前夜祭開催

12/11(前夜祭当日)夜は、風雨が大変強い状態でした。電車は遅れるし、傘を差していてもずぶ濡れになる始末。挙句の果ては、ホテル前で風に傘を壊されたりとはじめから散々でした(苦笑)



そんな状態のなかで受付終了時刻に受付を済ませた方は半数ほど。実を言うと内心かなり慌てました。結果的には時間を少し経過すると集まりだして一安心(^_^; 当初の予定を30分ほど遅らせた、22時くらいから前夜祭開始となりました。

#買出しにご協力いただいたOさん、ありがとうございましたm(_)_m

■前夜祭開始!!

22時くらいより開始。ホテルの売店で買ったお酒やつまみやお菓子を肴に盛り上がりました。

「お酒にマンゴーの寒天やお菓子はどーよ!？」という意見もありましたが、なかなか好評だったようです、たぶん(^_^;。お土産の参考としての意味もあったかもしれません(笑)

いろいろな話題で盛り上がりましたが、特に盛り上がったネタとしては、ソフトウェアテストに興味がある方々が集まっているということでJaSSTの話、参加者の地方色が出た野球の話や、(一部の方々の)世代的にストライクなTMネットワークの話などなどだったと思います。



翌日から「WACATE2009 冬」の熱い2日間が始まるため、24時をすこしすぎたところで前夜祭終了。部屋に残ったメンバーで2時過ぎくらいまで話を続けていましたが(^_^;

当初の目的にあった「親睦を図る」を大いに達成でき、イイ感じに助走もついた前夜祭だったと思います(笑)

■前夜祭運営(お手伝い)より一言

今回の前夜祭は3名で運営してきました。最後に運営のコメントを載せたいと思います。

【近江 久美子さん】

悪天候の中にも関わらずお申込み頂いた皆様全員が集まって下さったことは、運営に携わった1人として嬉しい驚きでした。運営側だけでなく、関わった全員で楽しい場をつくれた前夜祭だったように思います。翌日から始まるWACATEの「序奏」にもなったのではないのでしょうか。

ご参加の皆様、関係者の皆様、本当にありがとうございました!

【中野 さやかさん】

関東は朝から雨で、三浦海岸に皆さんが到着するころは風も強く、嵐のようでした。そんな中、雨にもマケズ、風にもマケズに集まって下さり、皆様のお元気そうな顔を拝見した時には、本当に嬉しかったです。2時間ほどという時間ではありましたが、本番への助走に加速をつけるような充実した時間が過ごせたと思います。写真の、参加者の笑顔が、物語っていますよね?!

翌日にはスッキリ晴れ、窓からは青い空、青い海、真っ白な富士山が!これからが本番だというのに、すかーっと気持ちのいい、疲れも吹っ飛ばす思いでした。さあ!次は、あなたが笑顔になる番です!(^-)-☆

一回の前夜祭(きっとやるんですよね?)の参考にさせていただければ幸いです。

そして、次回の運営スタッフはこのレポートを読んでいるあなたかもしれません(^_^

WACATE short short Vol.10 WACATE2009冬の後夜祭

WACATE Short Short Vol.10はWACATE2009冬の後夜祭ということで、お世話係を含めて合計19名の方々に参加していただきました。その様子をここでご報告させていただきます。

■後夜祭の始まりは・・・

WACATE2009冬の締めとして行った参加者全員での写真撮影。それが終わった瞬間から後夜祭が始まりました。本来であれば会場に着いてからが始まりというべきなのかもしれませんが、後夜祭はWACATEの会場から参加者全員で会場に向かうということで、その移動時間も後夜祭の一部ともいえるのです。

移動の電車内では、残念ながら後夜祭に参加することができない仲間との最後の時間を惜しむべく話に花を咲かせたり、後夜祭のためにエネルギーを温存すべく休んだりしているうちにあっという間に会場がある横浜に到着しました。

■参加の目的、そして・・・

後夜祭に参加する目的は『WACATEで知り合った仲間とさらに交流を深めるため』と結論付けた私たちお世話係一同は、交流の手助けをすべく、1つだけネタを仕込むことにしました。それは【席をくじ引きできめる】ということ。参加者の中には常連さん、初参加の方々がいるため、このような貴重な機会を固定メンバーに偏らなくすることで、いろいろなメンバーとお話ができる時間を費やしていただかなければもったいないと考えたからです。

■後夜祭の開始

開始寸前にコンビニ銀行に行く人数名、だってSoftware Testing『ManiaX』新装版を見たら、収集マニアには耐える事が出来なかったよ。というどうでも良いような話もありました。

さて、後夜祭のほうも、横浜駅で遭難する人も宇宙人に連れ去れる人もなく、納期を厳守し予定時間通りに開始しました。

後夜祭の開始の挨拶は、ベテランおやじの(仮名すぎた)乾杯の挨拶からです。その乾杯の挨拶は3秒という最短記録を更新しました。これは、飲みたいという自らの堪えきれない気持ちを示していたのでしょうか！



「1, 2, 3, 乾杯」

って、乾杯の挨拶じゃねえよ！

【席をくじ引きできめる】作戦が功を奏し、後夜祭が始まる前はあまり交流したことがなかった仲間とも、終了する時にはすっかり打ち解けることができたのではないのでしょうか。ここに掲載している写真からその様子を感じ取っていただけるものと確信しています。こうして後夜祭は、大盛況の中、幕を閉じることができました。

WACATE2009 後夜祭 幹事 一同

■最後に



満喫するためにも、次回は参加を検討されることをおすすめします。(きっと次回も前夜祭・後夜祭があるはず・・・?) (なべっち)

後夜祭の運営にあたり、至らぬ点があったために参加者の方々にご迷惑をおかけしてしまい申し訳ありませんでした。今回のイベントでは、参加者の一人ひとりが楽しいイベントを作り上げるものであり、お世話係はその手助けをするにすぎないということを感じました。楽しく充実したひと時を過ごすことができたのも、参加者の皆様のおかげです。ありがとうございました。今回参加できなかった方々も、WACATEを最大限に



■最後の最後に、お世話係メンバーよりひとこと

後夜祭に参加された皆様、おつかれさまでした！&ありがとうございました！

本会に続き、後夜祭もみんな全力の盛り上がりっぷりで、とても嬉しい時間を過ごせたことに感謝感謝です☆ (かわさき)

事前から楽しみにしていただいた方、当日の急な参加募集にもかかわらず参加して下さった方、本当に楽しい時間を過ごすことができました。ありがとうございます。

当初は、女性の応募が多いのに気がついて、むひひと思った小心物ですが、男女比同じくらいになって、胸をなでおろしたのは本当かな(仮名すぎた)

今年もよろしくお願いします。



カワカテにきく☆

第13回：【エンジニア生活環境向上！お茶生活のおすすめ。】おおのゆか



こんにちは。名古屋の大野です。今回は☆ALPHA☆さんからリレーいただいて、文章を書いております。早速、アツいテストばなしを書きたいところですが、ここはちょっと毛色を変えて、アツい「お茶」によるテ(イ)スティング...簡単にできる「仕事環境向上」のお話をします。

エンジニアに付き物の飲み物はコーヒー。だけど、コーヒーよりはお茶。お茶を飲んで、より健康になる。仕事するには体が資本でしょ、というわけで「お茶生活」の提案です。どうぞよろしくお願ひします！

私がお茶を好む理由。

エンジニアは毎日が戦いですよね？
目が痛い。集中したいができない。イライラしている。
眠気...など敵だらけです。
特に、あまりにも眠いとコーヒーばかり飲んでしまいますよね？
甘さと苦さを求めて、気づくとら、6本の空き缶が、....
これでは体にも、財布にもよろしくありません。体重が増えるわ、お小遣いは減るわ...

そでお茶生活です。

こんな毎日を断ち切るため、自動販売機でコーヒーを買うのではなく、自分でお茶を入れる。そして「一息つく時間」をとるのはいかがでしょうか。
気分、体調、季節によって違うお茶を楽しめるように、バリエーションをそろえておくのがポイントです。今回は、たくさん飲んでも胃に優しい、飲み続けやすいカフェインレスの「ハーブティー」中心に”私のお気に入り”をご紹介します。

エンジニア向けオススメのハーブティー

1) ブルーベリーティー

目が疲れた時。目が疲れそうなとき。視力保持の為に必須です。

甘酸っぱい、“君に胸キュン”なフレーバーで、目の健康が保たれるでしょう。

2) ペパーミントティー

とにかく目を覚ます刺激がほしいとき。刺激を求めてピリッとくるミントティーはいかがでしょうか？

ペパーミントティーは好み分かれますが、甘いものや辛いものまで、お好みのお茶を探す。これがいい！と思うお茶にたどり着いたとき、きっと”情報探索のレベル”があがっていますよ。

3) ジンジャー入りのハーブティー

寒いとき、甘さがほしいときに。

イライラしがちな時間、一息ついてほっとする為に、おもいっきり甘いお茶できもちを落ち着かせるのはいかがでしょうか？

”甘い気持ち”を楽しんだ後は、きっと仕事ははかどる...かもしれませんよ。

さっそくお茶生活を楽しまう。

お茶生活をはじめるとは、お気に入りのカップ、好きなお茶、それとポットのお湯だけです。
仕事に集中していると、寝食忘れてしまいがちです。そこで、ポイントポイントで茶で一息つく習慣を。この習慣が仕事生活向上につながれば、と考えています。

最後に

こうやってお茶の提案／プレゼンテーションしていますが、実はコーヒーも大好きで、自分で入れたコーヒーを毎日飲んでます。
自分の好きな飲み物、それを適量とるのが一番の生活向上だったりしますよね。だから「お茶だけしかだめ」ということはありませんよ。

生活の中での問題を見つけ、それを克服する工夫をして、自分なりの生活向上の方法を見つけてください！

Software Test Topics

当番：上田 卓由 (Magazine 編集部)

こんにちは、上田です～♪
あけましておめでとうございます～♪
今年も SoftwareTestTopics よろしくお願ひしますっ!!!
2010 年もテスト三昧でいってみましょー

【検定】2010 年第一回品質管理検定(QC 検定)

試験日・試験時間：

1 級 13:30～15:30(120 分) 2 級 10:30～12:00(90 分)

3 級 13:30～15:00(90 分) 4 級 10:30～12:00(90 分)

受付期間：

2009 年 12 月 14 日～2010 年 1 月 27 日

(団体受験申込は 2010 年 1 月 19 日まで)

受験料(税込み)：

1 級 8,000 円、2 級 5,000 円、3 級 4,000 円、4 級 3,000 円、

1 級 2 級併願 12,000 円、2 級 3 級併願 8,000 円、

3 級 4 級併願 6,000 円

【イベント】ソースコードリーディング ワークショップ 2010

開催日時：2010 年 1 月 30 日、13:00～18:10(受付開始 12:45～)

会場：キャンパスイノベーションセンター東京 1F 国際会議室

参加費：無料(但し、事前登録が必要です)

申し込み方法：Web ページを参照ください。

定員：60 人

参加資格：Java アプレットのソースコードを読み進めるため、プログラ
ミング経験者を前提としています。

ソフトウェアテストシンポジウム

JaSST'10 Tokyo 参加のお誘い

2010 年 1 月 28 日、29 日の 2 日間に渡って、ソフトウェアテストや品質
の活動や研究などを活発化・活性化できる有効な場としてのシンポジウ
ム、JaSST'10 東京を開催します！

基調講演者に、世界中で講演やトレーニングを展開されているジョン
ナ・ロスマン氏を招聘しマネジメントに焦点を当てたお話をいただきます。
また研究/経路論文や事例発表をはじめテストの奥深さを楽しく知っ
ていただくためのセッションとしてチュートリアルやライトニングト
ークス、クイズセッション、パネルディスカッションなど複数企画してい
ます。

また現場で役に立つテストツールやソリューションの紹介セッションや
展示などを通して、直接ベンダの方々から情報を入手したり意見交換がで
きるなど、交流の場としてもご利用いただけます。

皆様のご参加を実行委員一同、心よりお待ちしております。

【開催場所】 目黒御殿園 (東京・目黒)

【詳細、お申し込み】 <http://jasst.jp/archives/jasst10e.html>

■ライトニングトークス トーカー募集

~~~~ JaSST'10 Tokyo ライトニングトークス トーカー募集 ~~~~  
今年もやります、ライトニングトークス。

5 分一本勝負。まだまとまってないアイデア、ちょっとした小技、ノウハ  
ウ、そんなものを大募集。論文とか堅苦しいのはちょっと辛いけどみんな  
に聞いて欲しいネタがある。各地でのコミュニティ活動報告なんでも  
でも OK です。あくまでも「トーク」です、好きなことを語ってください、  
歌ってください。条件はひとつだけ、テストや品質がテーマになっている  
こと。みなさんのご参加をお待ちしています！

○募集人数 11 人

○主要な日程

応募〆切：1 月 21 日(木) (当日の 1 週間前)

※応募者多数の場合は、先着順といたします

原稿〆切：1 月 28 日(木)※当日ファイル(または PC)をお持ちください

公開用原稿〆切：2 月 25 日(木) (発表の 1 ヶ月後)

○発表申込

下記フォーマットでお申し込みください。

あて先：lt10tokyo@gmail.com

=====

JaSST'10 Tokyo LT 申し込み

-----

お名前：

所属：

トークタイトル：

トーク概要(250 文字以内)：

=====

○その他

JaSST'10 Tokyo への参加が必須となります。

○お問合せ

JaSST'10 Tokyo LT 担当 [lt10tokyo@gmail.com](mailto:lt10tokyo@gmail.com)

このコーナーでは、書籍やイベントの情報を募集しています。

例えば、「来月勉強会とか OFF 会とか開催するんだけど掲載してくんない？」といったものでも OK です。

開催地も、日本全国津々浦々、どこでもかまいません。

情報をお待ちしております m(\_ \_)m

# 池田暁の

## ミュージカルに恋して。

【第十三幕】—2009年の振り返り—

### ♪謹賀新年

読者の皆様、新年明けましておめでとうございます。旧年中はこの連載ともども大変お世話になりました。本年も何卒よろしくお願ひ申し上げます。

2009年の目標に本連載を一年間続けると挙げたのですが、なんとか達成することができてほっとしています。(^-^)

さて、2009年も終わったということで今回はいつもと構成を変えて2009年の観劇を振り返ってみようと思います。1月の「ドロウジー・シャペロン」が観劇初め、12月の「シェルプールの雨傘」が観劇納めとなりました。こうして書いてみて気がついたのですが、どちらも日生劇場ですね。日生劇場に始まり日生劇場に終わった一年でした。

では人月ごとに振り返ってみたいと思います。(月をまたいで公演を複数観劇の場合は最初の月のみ記載)

### ♪1月 (3演目)

1月「ドロウジー・シャペロン (日生劇場)」、「風が強く吹いている (テアトル銀座)」、「鉄人28号 (銀河劇場)」の3演目。

ドロウジー・シャペロンは小堀一樹は良かったのだけれど、他が追いついてきてなかったですね。藤原紀香は歌唱力が物足りない。ちょっと幸先が悪い気がしたところに「風が〜」。これがとても良い出来で一回しか観劇できなかったことを今でも強く後悔。D-boysも今までは色眼鏡で見てたところもあるのですが、しっかりと演じきっていて好感。こういった若者達の話をも鈴木裕美に演出させるとさすがだなとも思いました。

### ♪2月 (3演目)

2月は「しとやかな獣 (紀伊国屋劇場)」、「届かなかったラプター vol.1 (テアトル銀座)」、「タイタニック (東京国際フォーラムCホール)」の3演目。

しとやかな獣は原作は映画となりますが、とにかくナンセンスで、でも見応えある内容でよかったですね。届かなかった〜は、井上芳雄の美声に酔いしれましたが、淡々と進みすぎるので眠くなるのが難ですね。もう少し盛り上がりがありました。タイタニックは俳優が豪華だったにもかかわらず、ちぐはぐとした印象。もったいなかったですね。

### ♪3月 (7演目)

3月は「キティのくるみ割り人形 (サンリオピューロランド)」、「ミス・サイゴン (博多座)」、「元禄忠臣蔵 (歌舞伎座)」、「ザ・ヒットパレード (テアトル銀座)」、「回転木馬 (銀河劇場)」、「レ・ミゼラブル (中日劇場)」、「太王四神記 (東京宝塚劇場)」の7演目。

この月は頑張りましたねー。なんといっても、遠征と称して福岡と名古屋まで出かけたのが思い出深いです。サイゴンは、知念キムに号泣。レミゼも中日劇場しか出演しない東山アンジュラスを見られたのがうれしかったです。そういえばちょうど楽屋口から出てきたところでアンジュラス役の原田君と2ショット写真が取れたのもうれしかったなあ。それから歌舞伎デビューもしましたね。知られている筋書きでしたので、置いていかれることもなく感激。そして回転木馬は笹本玲奈を堪能。いままでとは違った役でしたがキッチリ演じていました。回転木馬は終盤のやさしい展開がなんともいえないですね。「ひとりじゃないさ」は名曲ですよ。

### ♪4月 (4演目)

4月は「マイ・フェア・レディ (帝国劇場)」、「ニュー・ブレイン (シアタークリエ)」、「トライアングル 〜ルームシェアのススメ〜 (PARCO劇場)」、「DownTown Follies vol.6 (はしもと社のホール)」の4演目。

マイ・フェア・レディはクラシックなミュージカルということで堪能。同演目はオードリー・ヘップバーンの映画が有名ですが、やはりこれは舞台上で観なくては。トライアングルはとても楽しいお芝居でした。井上&新納のコンビはプライベートでも仲良しらしく、息が合っていました。そこに彩乃かなみ加わるわけですが、これがとてもいい！ あっという間の3時間でした。

ずっと観たいと思っていたDowntown〜は最初から最後まで笑っぱなしで大満足。下ネタもバリバリで、いつもとは違う俳優達の姿がおかしくってしょうがありませんでした。

### ♪5月 (2演目)

5月は「シラノ (日生劇場)」、「この森で、天使はバスを降りた (シアタークリエ)」の2演目。

シラノは曲がフランク・ワイルドホーンということで楽しめたのですが、演出がいまひとつだったかもしれません。なんだか学芸会的な雰囲気になっていました。この森で〜は大塚ひろの成長が光りました。剣幸は円熟。うまいの一言、小さなカンパニーですが、歌える人がそろっていて聴き応えがありました。最後はぼろぼろ泣いてしまった演目でした。

### ♪6月 (2演目)

6月は「六月大歌舞伎 昼の部 (歌舞伎座)」、「ミー&マイガール (帝国劇場)」の2演目。

どうしても女殺油地獄を観たくて、二回目の歌舞伎となりました。二回目ともなると慣れてくるものですね。楽な気分で観劇することができました。ミー&マイは大好きな演目ということもありかなり通いました。そしてそのたびにテンション高く帰路につきました。なかでも、WACATE Short Short として行った観劇会では、席が最前列センターであまりにも楽しすぎました。俳優はもちろんのこと、オーケストラもノリノリで劇場の一体感は凄いのがありました。

### ♪7月 (2演目)

7月は「ダンス・オブ・ヴァンパイア (帝国劇場)」、「異人たちの夏 (シアタークリエ)」の2演目。

ダンス〜は一言でいうと山口祐一郎を堪能する演目…と書くと語弊があるかもしれませんがソロも多くファンにはうれしい演目ですね。異人たち〜は原作と比べると少しおとなしい筋書きになりました。悪くはないものの少し物足りない印象でした。

### ♪8月 (1演目)

8月は「天翔ける風に (東京芸術劇場中ホール)」。

とにかく香寿たつきの好演につきます。幕が開いてから最後まで、とにかく舞台上に充満するエネルギーがすごくて圧倒されっぱなしでした。また場のつなぎもうまく、重い内容にもかかわらずいっしょに最後まで見せる演出の力がそこにはありました。

## 9月 (1 演目)

9月は「ジェーン・エア (日生劇場)」。

初のタイトルロールを演じる松たかこは気合十分。歌も演技もノってました。結婚したばかりの橋本さとしもなんだか雰囲気が出たように思えましたね。展開は少しばかり速かったですが、松がぐいぐいと引っ張って行って良かったと思います。

## 10月 (2 演目)

10月は「屋根の上のヴァイオリン弾き (日生劇場)」、「レ・ミゼラブル (帝国劇場)」。

屋根は伝統ある演目ということで、非常に楽しみにしていました。市村正親と鳳蘭の夫婦は非常に自然でしたし、娘達もそれぞれに良かった。しかしなんといっても音楽でしょう。好き嫌いはあると思うのですが、私の好きな部類で閉幕後もしばらく海外版サントラを聴いていました。それからレ・ミゼラブルは残念ながら回数通うことができませんでした。岡ジャベールを中心の観劇でしたが、どうもアンサンブルのパワーがいまひとつだったように思います。2011年公演に期待したいと思います。

## 11月 (0 演目)

11月は病気療養で観劇なし。ストレスがたまりました。(TT)

## 12月 (3 演目)

12月は「グレイ・ガーデンズ (シアタークリエ)」、「パイレーツ・クイーン (帝国劇場)」、「シェルプールの雨傘 (日生劇場)」の3演目。

グレイは太田美知子という女優に初めての遭遇でした。凄い！の一言。女優とはこういった人のことを言うのかと強く感じました。ミュージカルとうたっているものの、実際には数曲で芝居の要素がとても多かったですが、それだけにじっくり観られたとも言えますね。圧巻の一言でした。パイレーツは今年最大の衝撃でした。なんと「祐一郎が走ってた！」(笑)。

今回は結構動いていたのですが、それを観て思ったのですが、やはり祐一郎は動かないほうがいいですね。(^-^； 保坂は声が随分戻ってきていて安心。でもやはり相変わらずずうまいのは涼風。実は一番おいしい役どころはこの人だったのではないかと思います。

最後、2009年の観劇納めとなったシェルプールの雨傘は俳優の好演も光りましたが、もうなんといっても曲です。曲を聴くだけで世界にどっぷりとつかりこんでしまいます。そこはかかない、切ない空気が劇場を包んでいました。この日はクリスマスイブということもあり特別カーテンコールが行われました。井上芳雄の美声に酔いながら一年の終了となったのでした。

## 1年を通して

一年間通しての演目数は30と、年初に立てた50演目という目標を大幅に下回る結果となってしまいました。

これは忙しかったのもあるのですが、小粒な演目が多く観劇まで至らないものが多かったのが原因かなと思います。特にTVタレントを主役級に据えるものが多くて、どうしても足が遠のいてしまいました。観劇数自体もトータルで50回程度と2008年の半分となってしまい、反省。厳選したという言葉の響きが良いですが、まあダメですね。(一；

来年は気を引きしめて劇場に通って行きたいと思います。

## 2009年個人ランキング

…というわけで、ここで終わるのもなんなので、個人ランキングを決定してみようと思います。

- 1位：天翔ける風に (東京芸術劇場中ホール)
- 2位：風が強く吹いている (テアトル銀座)
- 3位：ミー&マイガール (帝国劇場)

1位はもうぶっちぎりで「天翔ける風に」です。TSミュージカルファウンデーションの公演を観るのは初めてだったのですが、舞台を覆うエネルギーの密度感と流れるような展開には最後まで興奮しっぱなしでした。香寿たつきも熱演でしたし、皆歌唱力は折り紙つきですし、ダンスもレベルが高かったですね。

2位の「風が強く吹いている」は同名・同原作の映画が公開中ですね。これはみずみずしい舞台でよかったです。駅伝のシーンは果たしてどう演出するのだろうかと思っていましたが、まさかルームランナーが登場するとは思いませんでした。実に鈴木裕美らしい演出で、帰り道はさすがにいい気分となりました。

3位の「ミー&マイガール」は劇場全体を巻き込んでハッピーになれる、実にミュージカルらしい演目でした。ミュージカルにおいて「単純すぎるくらいに楽しい！」と思える演目は実は少ないので、こういった機会は逃さないようにしないとね。(^-)

## 2010年は？

2010年はなんといっても4月以降の帝国劇場でしょう。今年は何と、レベッカ、エリザベート、モーツァルトとクンツェ&リーヴァイのコンビの作品が一挙上演。やりすぎだろうと思わないでもないですが、これには大興奮です。また、6月にはキャンディードが上演。これもとてもうれしい上演です。これらに通いつつ、他の演目をつまみぐいしていくというのが2010年の観劇スタイルになりそうです。

## 1年終わりに

今回は無謀にも一年間を振り返ってみましたが、書いている最中にいろいろと思い出されてきてとても楽しかったです。そして確信したのは「観劇は楽しい！」ということです。楽しいだけでなく、勉強になりますし、なによりストレス発散することができます。会社などでは涙を流すことはなかなかありえませんが、劇場では簡単にぼろぼろと流すことができます。これは自分の心を開放できているということですね。この心のマッサージは今後も続けて行きたいと思います。

さて、次号からはまた通常通りの運転となります。1月は新春歌舞伎のほかキャバレーといったあたりを計画しています。お楽しみに。

# 今月のSTAR★

## ◆さあて皆さんお待ちかねエエエ！

みんな大好き我らがスター★やまさきの大活躍を勝手に  
お送りするスター★マジパネェス記事。

記念すべき第一回は

WACATE 2009 冬～もうひとつの冬～終了後の打ち上げ→  
そのまま年越しという荒行をしたときのスター★の大活  
躍ぶりをご紹介！

まずは夕日をバックに。



## ひと仕事終了後はさすががしいね★

その後の打ち上げでは大晦日ということもあり、  
あまりのめでたさに、ふとゾンビに。



もう年明けでめでたい  
からね！

ノド渴いたんで、  
コーヒー  
飲んでいいスか？

…マジかっけーッス。  
この違和感の無さが凄い。



うろうろした後、巫女さんを求めて初詣。

“IT お守り” で有名な神田明神へ。

そして WACATE への愛を綴った絵馬を胸に。



※この頃はもう疲れ果ててリアクションがおざなりです。

でもこんなオチャメな一面も。



しかしこのスター★、ノリノリである。

今後もネタがあるときにお送りしてきたいと思います☆  
たぶん毎月ネタがある気が…w

書いた人：コヤマン

# WACATE-Blog出張所

こんにちわ〜、上田ですっ♪

2009年12月31日、Software Testing "ManiaX" Vol.2  
を買いにコミケに行って買ってきましたっ！！  
その「買って来た」レポートを書きたいと思います〜

## ■さすがに朝からは、、

前回、夏に行われたコミケにも Software Testing "ManiaX" Vol.1 を買いにいって来ました。

そのときは、WACATE-SNS で企画された「STM 本を買いにいづくツアー」に参加して、8時から並んだのですが、冬に朝から並ぶのは、体力的にちょっとキツイ、、と

思ってしまい、お昼ごろに会場に行くことにしました。  
※「Vol.1 を買いに行ってきた」レポートは WACATE-Magazine Vol.9 の「Blog 出張所」をお読みください〜

## ■「国際展示場前」に到着っ！！

12時過ぎくらいに、りんかい線の「国際展示場前」駅に到着っ！！

りんかい線はそれほど混んでいなかったの、「あれ？めっちゃ人少ないのかな？」と思っていたのですが、、ホームに降りて、エスカレータを上がると、**人だらけ**でした。。。

でも、やっぱり大晦日だからなのか、夏のときのような混み具合ではなかった感じでした。

さすがにお昼なので、並んでいる行列もなく、スーっと会場に入れました。

## ■「西よ-28b」へ向かうっ！！

会場に入って、早速「西館」に向かいました。  
西館は、東館に比べて狭いほうなので、迷わずに「西よ-28b」の場所に向かえました〜。

途中、途中の通り過ぎるサークルで「あ、これいいかも、、」「ちょっと見ていこうかしら、、」などなど思いましたが、

「いかん、まずは Software Testing "ManiaX" を買わなきゃっ！！他の同人誌はその後も買える（売り切れで買えないかもしれないけど、、、、）」

という感じで、向かいました〜

## ■今回もっ！！o(≧▽≦)o

「よ」の列を歩いて、「どこかなあ〜」と探していると、「ソフトウェアテストの同人誌です〜！！」という声が聞こえました。

そして、声のするほうを向いてみると、、

おっ！！**コヤマンさん**を発見〜っ！！！！

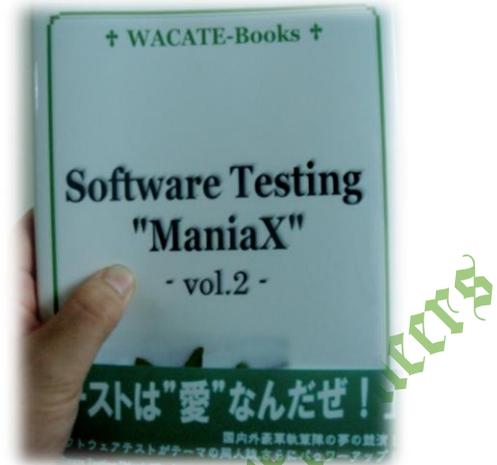
そして、WACATE ブースに到着〜っ！！

おおおお、、

今回も**メイドさん**だっo(≧▽≦)o

**メイドさん**が二人だっo(≧▽≦)o

メイドさんに見とれつつ、目を下に下ろすと、  
Software Testing "ManiaX" Vol.2だ〜っ！！



Vol.2、最初から**新装版**だと思ってなかったの、ちょっとビックリしました。

さっそく、上田は、2冊購入しました〜♪♪♪

## ■Twitter と iPhone

実は、WACATE2009 冬のときから Twitter を始めました。  
(もともと iPhone にアプリは入れていたのですが、全然使っていませんでした。。)

なので、東京ビックサイトに向かう最中、Twitter でちょいちょい確認していました。

「パチパチ〜」や「会場到着〜」などのつぶやきを見たりして、「お〜始まったのか〜、自分も会場着いたりしたらつぶやこう〜」などと思って移動していましたっ！！

で、会場に着きましたっ！！

「よし、つぶやいてみよ〜」と思って iPhone の Twitter のアプリを立ち上げると、

あれ？全然通信出来ない、、5本ちゃんと立っているから電波は入ってきてるのに、、**通信が出来ない。**

試しにメールを開いてみても、全然メールの受信が出来なく、「通信中」のグルグル表示がずーずーと続いているだけ、

**何回もリロード**をしてやっと、5分に一回くらいのタイミングでデータが読み込めた感じでした。。

とりあえず、**電話は出来た**ので、全く通信手段がないってわけでないの、そこは助かりました〜

しかし、このコミケの環境、携帯電話のテストをするには**いい環境**だ。

書いた人：うえだ

# 開運

## 源太郎のソフトウェアテスト占い

※「ソフトウェアテスト占い」とは…

日本の伝統的な暦で知られる気学(九気性)をもとに、日本古来の統計学とソフトウェアテストで培った時代の統計学を組み合わせ考察された占いである！(笑)

|      | 生まれ年            | 1月の運勢                                                                                      |
|------|-----------------|--------------------------------------------------------------------------------------------|
| 一白水星 | S38/S47/S56/H2  | 本月は中宮と相性して平穏な日々。念願のことも <b>成就の可能性が低く</b> 期待はできません。あせらず困難を克服し、時期を待って回復をはかることが第一です。           |
| 二黒土星 | S37/S46/S55/H1  | 運気はやや不安定な様相を示し、 <b>進退にも迷いを生じる</b> が迷わず現状の維持と充実努めるべきなり。 <b>つまらぬ妄想は周囲の信用をも失う事にもなる。</b>       |
| 三碧木星 | S36/S45/S54/S63 | 運気は中運の感あり「 <b>門松や冥土の旅の一里塚、めでたくもあり、めでたくもなし</b> 」というが、まさにそのとおりの運気。 <b>あまり動かぬ方が無難。</b>        |
| 四緑木星 | S35/S44/S53/S62 | 運気はやや不安定な様相を示している。 <b>ものごとは急ぐとかえって不利</b> となりのんびりと取り組むほうがむしろ効果的となる。現状の維持にも努めよ。              |
| 五黄土星 | S34/S43/S52/S61 | 運気はやや上昇の兆しが見えている。特に <b>金銭上の出入りが激しく</b> 収益も予想以上に上回る。ただ <b>出費も思いのほか多いゆえ一瞬間違えると大きな損失ともなる。</b> |
| 六白金星 | S33/S42/S51/S60 | 運気はきわめて安定性のない状態にある。周囲の環境も不安定となりとかく <b>争論が絶えぬ</b> 。労して <b>益なきこともあるが前途への道としてとらえ取り組むこと。</b>   |
| 七赤金星 | S32/S41/S50/S59 | 運気は中運となる。物事が中途半端で結論が出ないまま終わることが多くなる。 <b>住所の移転・家内不和も生じやすくなりよほどの心の引き締めが肝要なり。</b>             |
| 八白土星 | S31/S40/S49/S58 | 運気は衰運の感がある。中宮との関係も芳しくなく物事は、 <b>慎重に運ばねばならぬ</b> 。身辺の争いごとにも <b>十分な注意が必要となるが、あまり深入りは禁物。</b>    |
| 九紫火星 | S30/S39/S48/S57 | 運気はすこぶる盛運にして努力すれば物事思うがままに進行する。ただ <b>甘言・誘惑が多くともすると多大な出費となる恐れもある</b> 。口舌にも <b>十分な注意が肝要。</b>  |

| 月盤 三碧木星 |   |   |   | 年盤 九紫火星 |   |   |   |
|---------|---|---|---|---------|---|---|---|
| 南       |   |   |   | 南       |   |   |   |
| 暗剣殺     |   |   |   | 暗剣殺     |   |   |   |
| 東       | 2 | 7 | 9 | 東       | 8 | 4 | 6 |
|         | 1 | 3 | 5 |         | 7 | 9 | 2 |
|         | 6 | 8 | 4 |         | 3 | 5 | 1 |
| 北       |   |   |   | 北       |   |   |   |
| 五黄殺     |   |   |   | 五黄殺     |   |   |   |

### ◆今月の注意事項

**皆様、新年明けまして、おめでとうございます。**

昨年とはどんな年だったでしょうか？良かったことも悪かったこともたくさんあったともいますが・・・

暦の上では、**節分(旧暦の新年)**を迎えるまでは年(年盤)が変わりません。。

しかし神社では、今年の神様をお迎えしていますので去年の悪かったことは忘れて、良かったことが長続き・再来することをお祈りいたしましょう。

今年一年も皆様にとって良い年でありませう、祈念いたします。

**それでは皆さん、「今年一年、良いテストを！！」**

## お知らせ

1月31日(日)に WACATE-Magazine vol.14 発行します!(たぶん)

次号の特集は「JaSST 10 Tokyo Report!」を予定しています★

# 来たれ! 投稿戦士!

WACATE-Magazine では“ソフトウェアテストや品質に関する記事”を常に募集中です。

来たれ! 投・稿・戦・士!!!

WACATE-Magazine はボランティアベースで発行されています。したがって原稿料は出ません。※ノーギャラです。

投稿いただいた原稿の掲載可否、掲載時期については編集部で決定させていただきます。

特定の商用ツールやサポートなど営利色が強い原稿は原則として掲載いたしません。

レイアウトなどは全て編集部で行います。また、特に戻り確認などは行いません。

単なる論文は掲載しません。紙面の雰囲気を読んだ、イイ感じな文体や内容をお願いします。

公序良俗に反すると思われるものについても掲載しません。

以上を了解した上で、覚悟完了! の方は WACATE-Magazine 編集部「[magazine@wacate.jp](mailto:magazine@wacate.jp)」まで、是非ご連絡ください。

折り返し、担当より要綱をご連絡いたします。

楽しい、そして役に立つ紙面にするため、是非ご協力いただければ幸いです♪

## ☆その他、WACATE-Magazine では以下の情報をお待ちしています☆

- 書籍情報(オススメ書籍情報も可)
- イベント情報(ソフトウェア/品質/テスト関連ならなんでも)
- 勉強会情報(ソフトウェア/品質/テスト関連ならなんでも)
- オフ会情報(ソフトウェア/品質/テスト関連ならなんでも)
- デザート情報(甘いものならなんでも。िकास! やつで。)

などなど、お待ちしております♪



来たれ  
次世代の  
戦士達よ!!!

WACATE実行委員募集中♪

## ★★★ WACATE 実行委員募集中 ★★★

### 編集後記

いいいんちょ★謹賀新年! 次は JaSST 10 Tokyo だっ! ManiaX vol.2 の感想待ってま〜す。(〜  
ふくいいいんちょ★WACATE 2009 冬は終了したけれども、年末はまだまだ一杯やることが…orz  
ヨエだ★レポートにまとめることは、いい振り返りになります♪  
あはべ★新年おめでとうございます。冬はスキー特訓中です。  
かもんじ★お正月には研究して研究して研究しましょー(泣  
コヤマン★あけましておめでとうございます!!! 今年も一生懸命バカやります+  
まわちゅ★本物のスター★が見れるのは WACATE だけ! +  
はらゆき★そういや最近、雪山行ってない…(ぼそ)  
ばんばん★JaSST 10 Tokyo のクロージングはガールズトーク♪なんですよ♪実は+  
むらかみ★新年キタ————! そして、JaSST Tokyo の季節到来。。。w

★あ〜つ! +★

2010/1/11(Mon)13:00

WACATE-Magazine へんしゅヨエ!

✉ [Magazine@wacate.jp](mailto:Magazine@wacate.jp)

<http://wacate.jp/Magazine/>